
久喜市
認知症に関するアンケート調査結果

令和8年5月

目次

アンケート結果	1
（１）担当包括	1
（２）依頼先	1
1. 認知症の人から見た共生社会の状況	2
（１）性別	2
（２）年齢	2
（３）家族構成	3
（４）家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができていると思うか	3
（５）地域で何かしらの役割を果たしていると思うか	4
（６）自分らしく暮らせていると思うか	5
（７）在宅生活の様々な場面において、自分の意思が尊重され、望む生活が継続できていると思うか	6
2. 認知症の症状がある方の支援について	7
（１）介護者の性別	7
（２）介護者の年齢	7
（３）認知症の症状がある方の年齢	8
（４）認知症の症状がある方の介護度	8
（５）回答者が主な介護者であるか	9
（６）主な介護者	10
（７）認知症の症状がある方の介護で困っていること（複数回答）	11
（８）認知症の方の変化に最初に気付いた人	13
（９）介護をする前と比べて、心身の負担がある中でも、自分らしく暮らせていると思うか	14
（10）認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外で知っている相談先（複数回答）	15
3. 認知症バリアフリーについて	16
（１）認知症と診断されたことで、使えなくなったサービス・施設（複数回答）	16
（２）認知症と診断されたことを周囲に伝えても良いと思うか	17
（３）【伝えて良いと思わない人・伝えていない人】その理由（複数回答）	19
（４）認知症の方が地域社会の中で、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか	20
4. 認知症の人の生活について	22
（１）現在、楽しいと感じていることや、ずっと続けていること（複数回答）	22
（２）認知症になって諦めたこと（複数回答）	23
（３）諦めた理由（複数回答）	24
（４）認知症と診断された後で、新たにやりたいこと（複数回答）	25
（５）今後の生活についての考え	26
（６）認知症と診断された時、不安に感じたこと（複数回答）	27
（７）認知症について知っていること（複数回答）	28
（８）認知症の方や家族への支援で今後充実してほしいと思うもの（複数回答）	30
5. 行政の取り組みについて	32
（１）行政の取り組みの利用状況	32

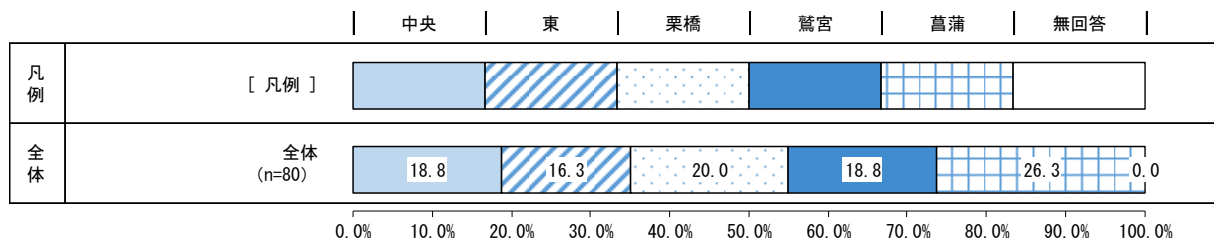
(2) 行政の取り組みで必要と思うもの(3つまで)	34
6. 参考(令和7年度実態調査結果)	35
(1) 要介護認定者調査結果	35
●本人が現在抱えている傷病(複数回答)	35
●現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等(3つまで) ..	37
(2) 介護サービス事業所調査結果	39
●認知症高齢者の介護に関して、今後進める必要があると思うこと(複数回答)	39
(3) ケアマネジャー調査結果	40
●介護支援専門員の業務として難しいと思っていること(複数回答)	40
●利用者で、在宅生活が困難と思われる理由(いくつでも○)	41
●認知症に関して相談できる医療機関の有無	41
●相談している医療機関(複数回答)	42
●認知症高齢者の介護に関して、今後進める必要があると思うこと(複数回答)	42

アンケート結果

(1) 担当包括

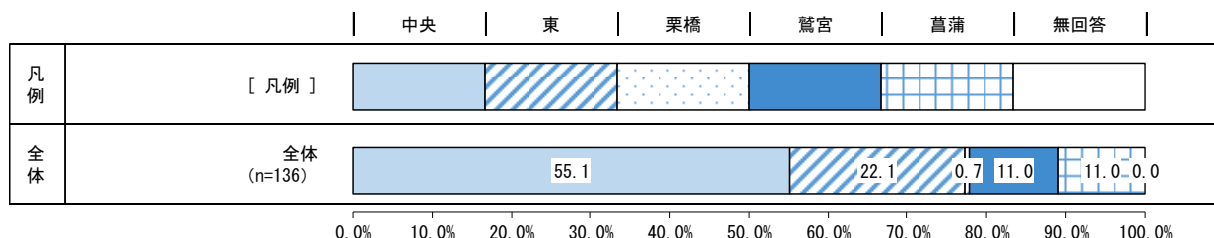
【本人】

- 「菖蒲」が26.3%で最も多く、次いで「栗橋」が20.0%、「中央」「鷺宮」が18.8%となっています。



【家族】

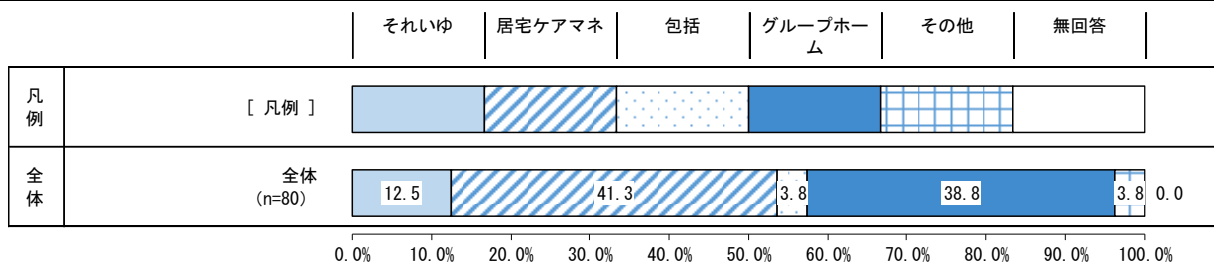
- 「中央」が55.1%で最も多く、次いで「東」が22.1%、「鷺宮」「菖蒲」が11.0%となっています。



(2) 依頼先

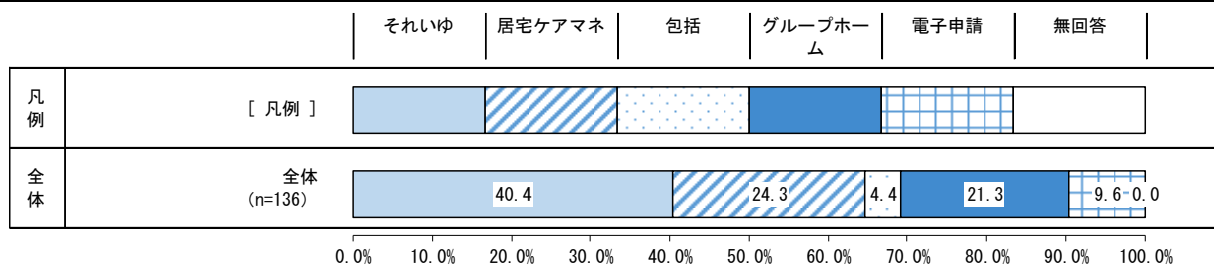
【本人】

- 「居宅ケアマネ」が41.3%で最も多く、次いで「グループホーム」が38.8%、「それいゆ」が12.5%となっています。



【家族】

- 「それいゆ」が40.4%で最も多く、次いで「居宅ケアマネ」が24.3%、「グループホーム」が21.3%となっています。

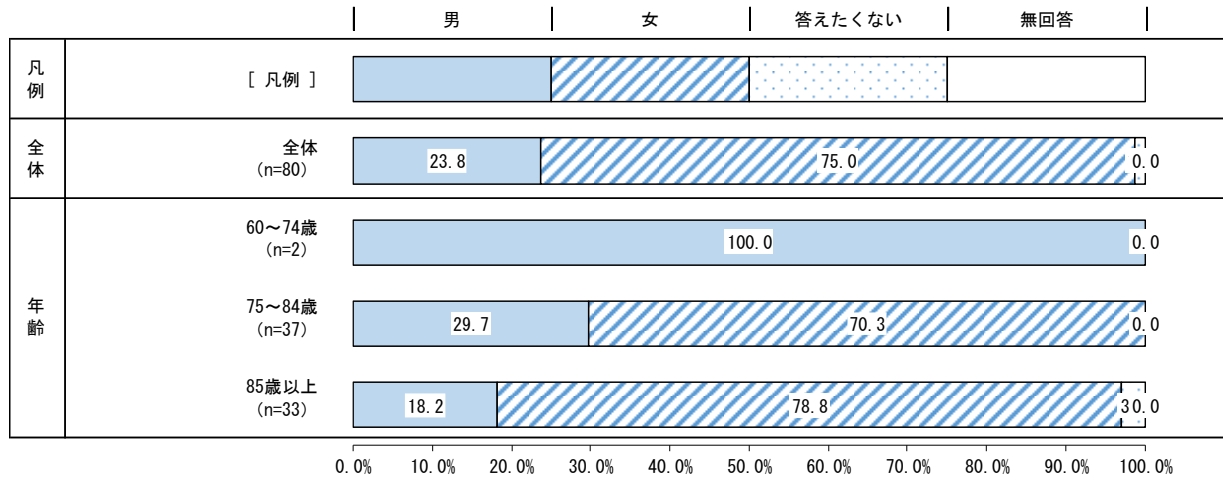


1. 認知症の人から見た共生社会の状況

(1) 性別

【本人】

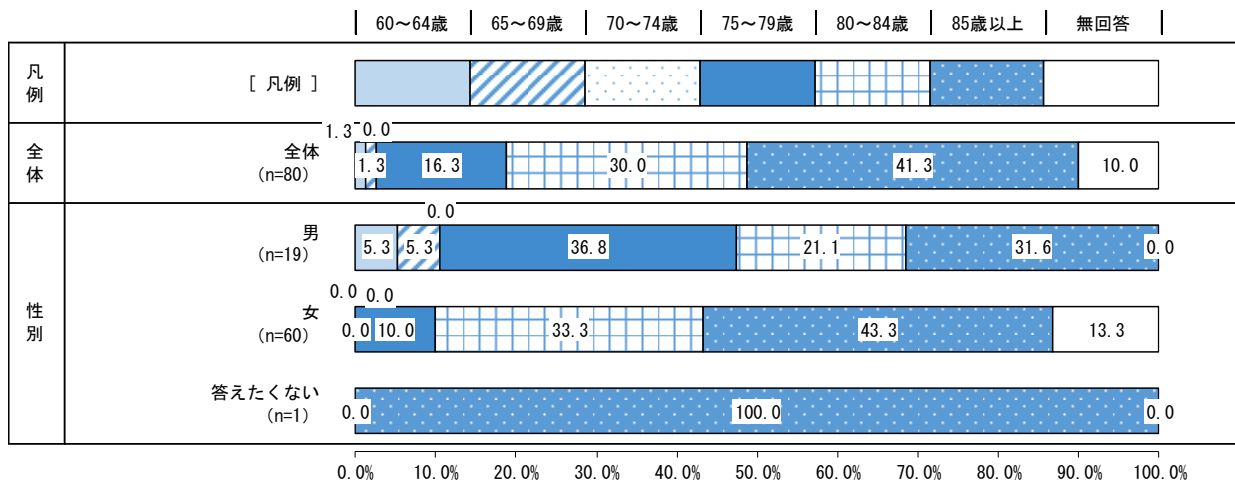
○ 「女」が 75.0%で最も多く、次いで「男」が 23.8%、「答えたくない」が 1.3%となっています。



(2) 年齢

【本人】

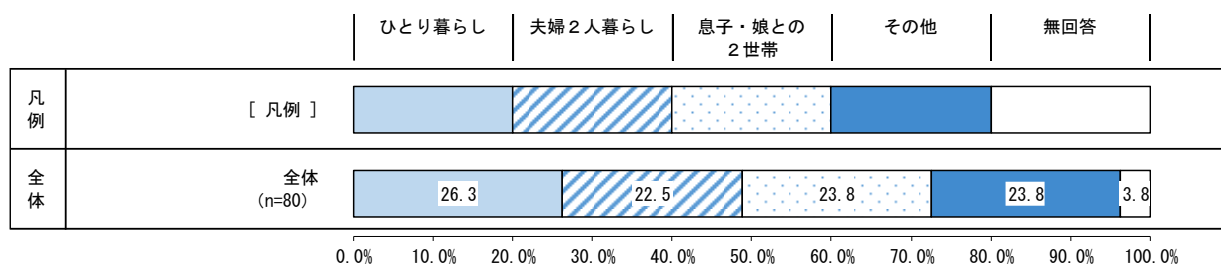
○ 「85歳以上」が 41.3%で最も多く、次いで「80～84歳」が 30.0%、「75～79歳」が 16.3%となっています。



(3) 家族構成

【本人】

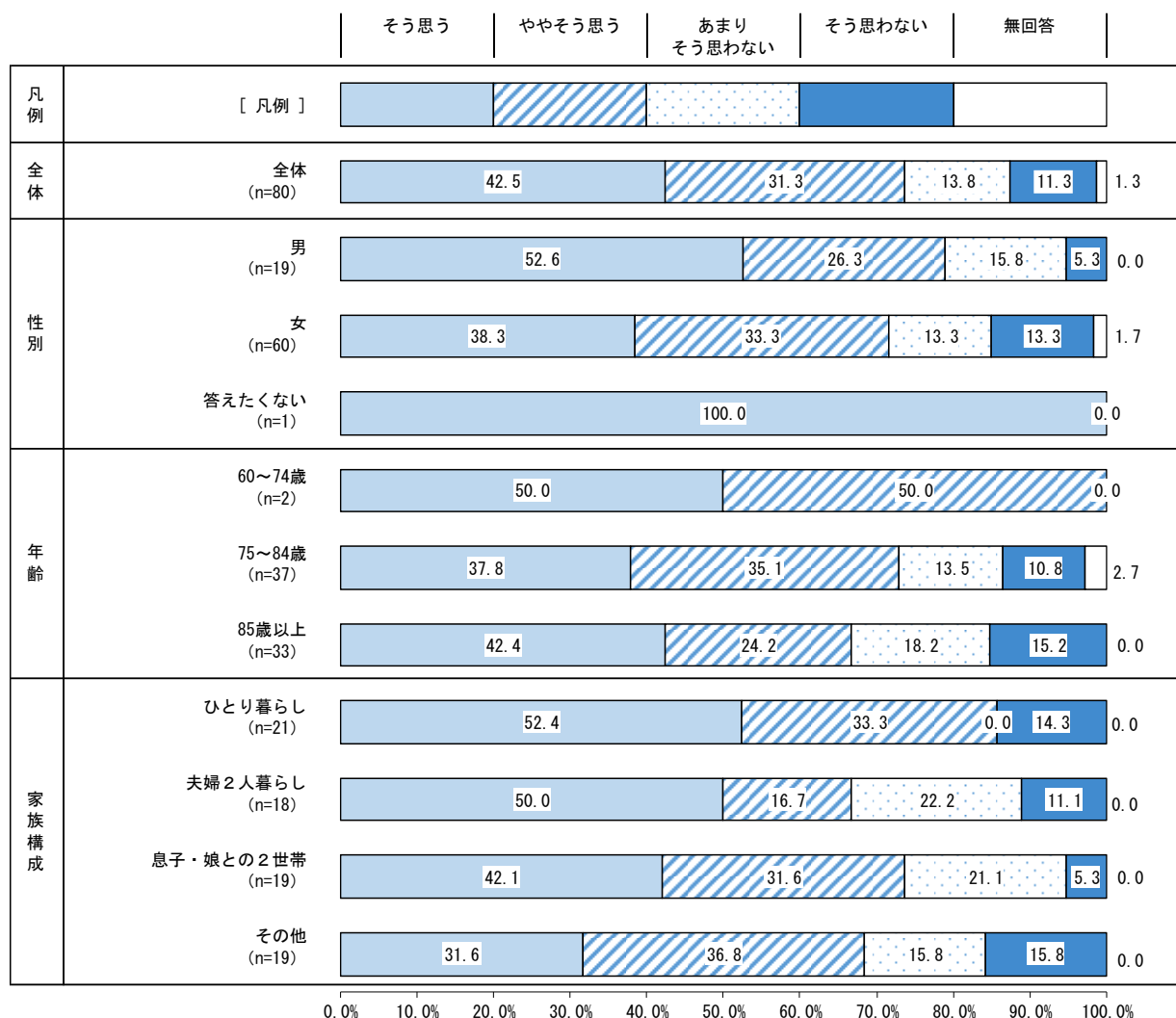
- 「ひとり暮らし」が26.3%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.8%、「夫婦2人暮らし」が22.5%となっています。



(4) 家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができると思うか

【本人】

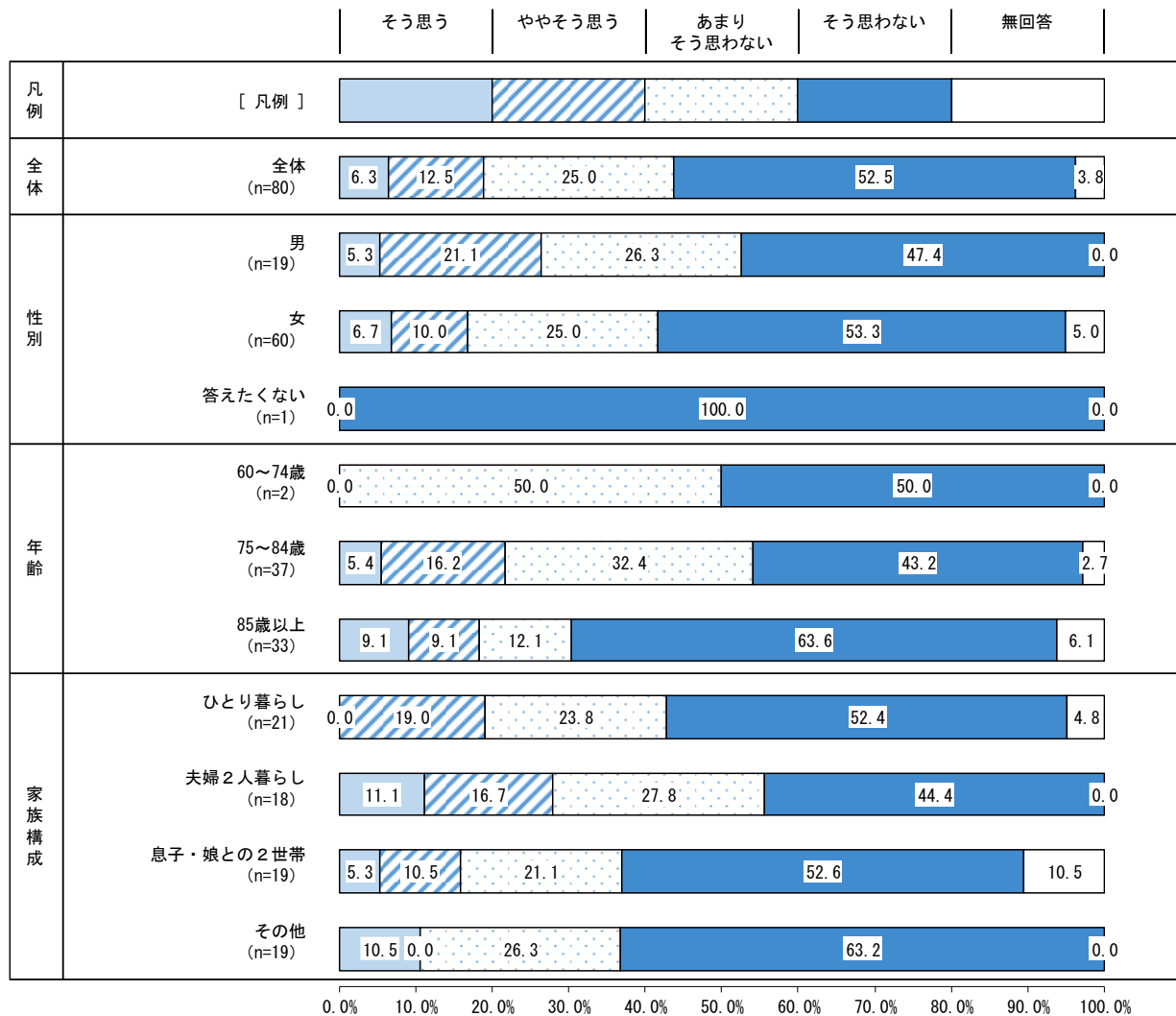
- 「そう思う」が42.5%で最も多く、次いで「ややそう思う」が31.3%、「あまりそう思わない」が13.8%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は73.8%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は25.1%となっています。



(5) 地域で何かしらの役割を果たしていると思うか

【本人】

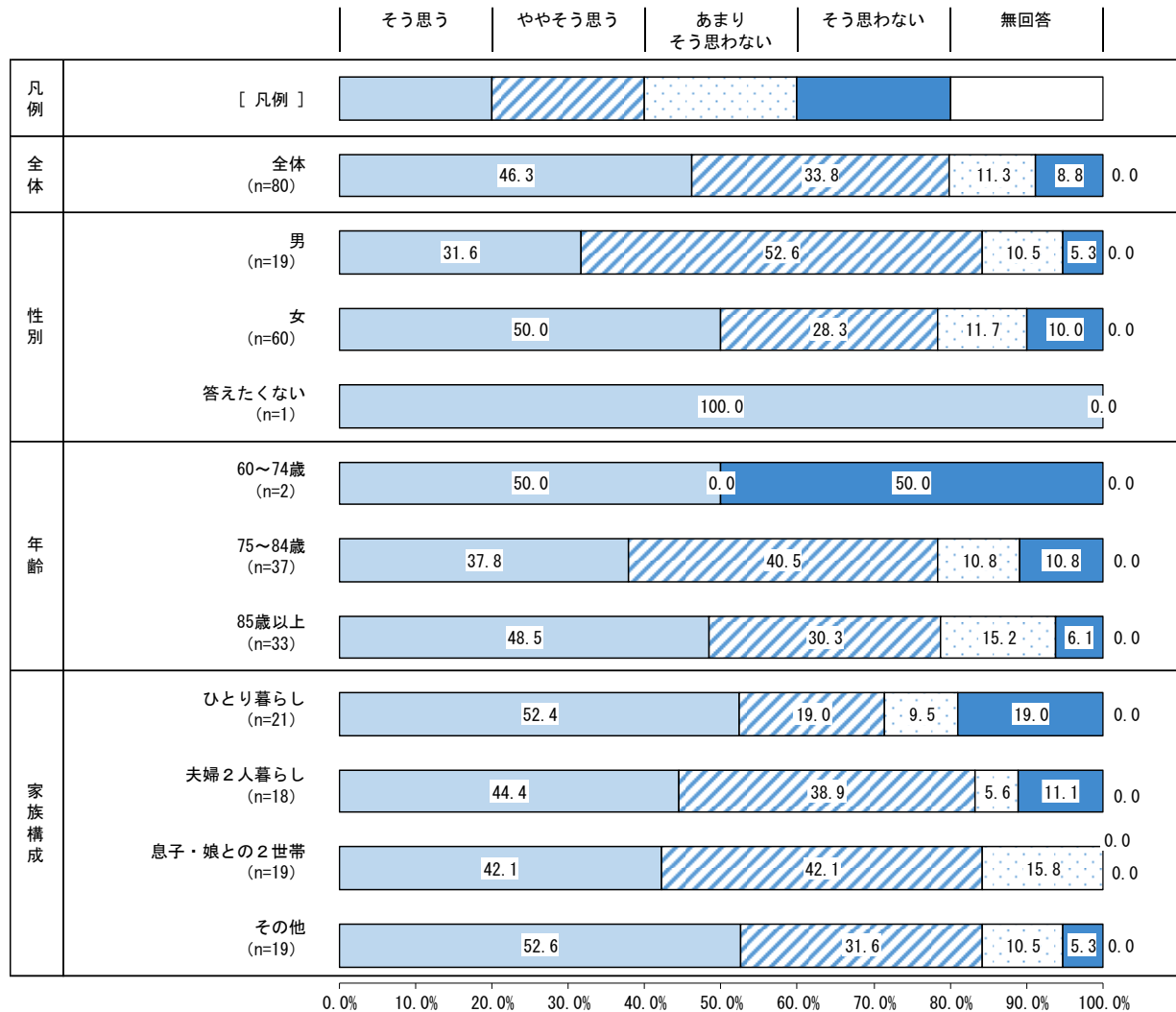
- 「そう思わない」が52.5%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が25.0%、「ややそう思う」が12.5%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は18.8%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は77.5%となっています。



(6) 自分らしく暮らせていると思うか

【本人】

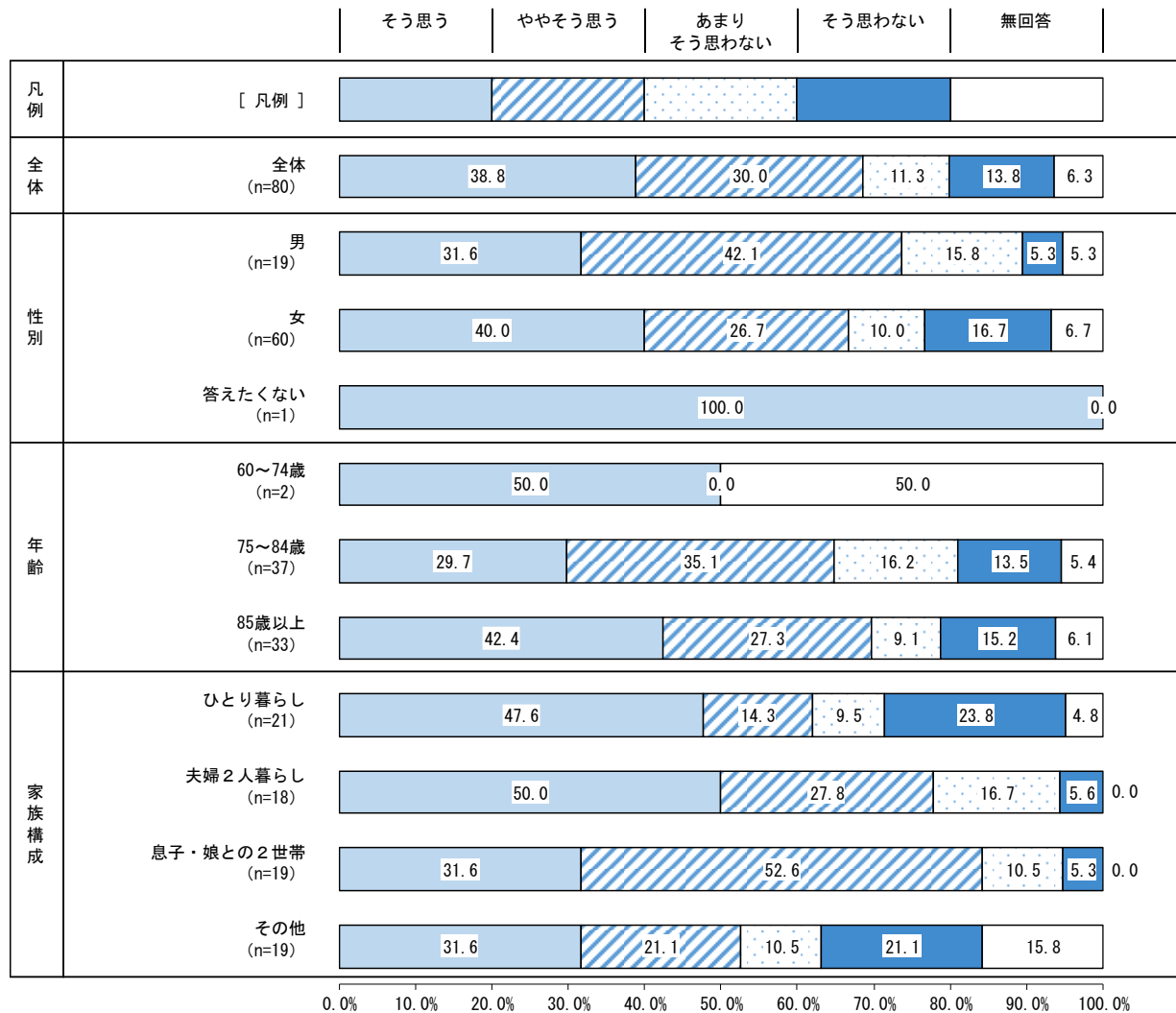
- 「そう思う」が 46.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 33.8%、「あまりそう思わない」が 11.3%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は80.1%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 20.1%となっています。



(7) 在宅生活の様々な場面において、自分の意思が尊重され、望む生活が継続できていると思うか

【本人】

- 「そう思う」が 38.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 30.0%、「そう思わない」が 13.8%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は68.8%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は25.1%となっています。

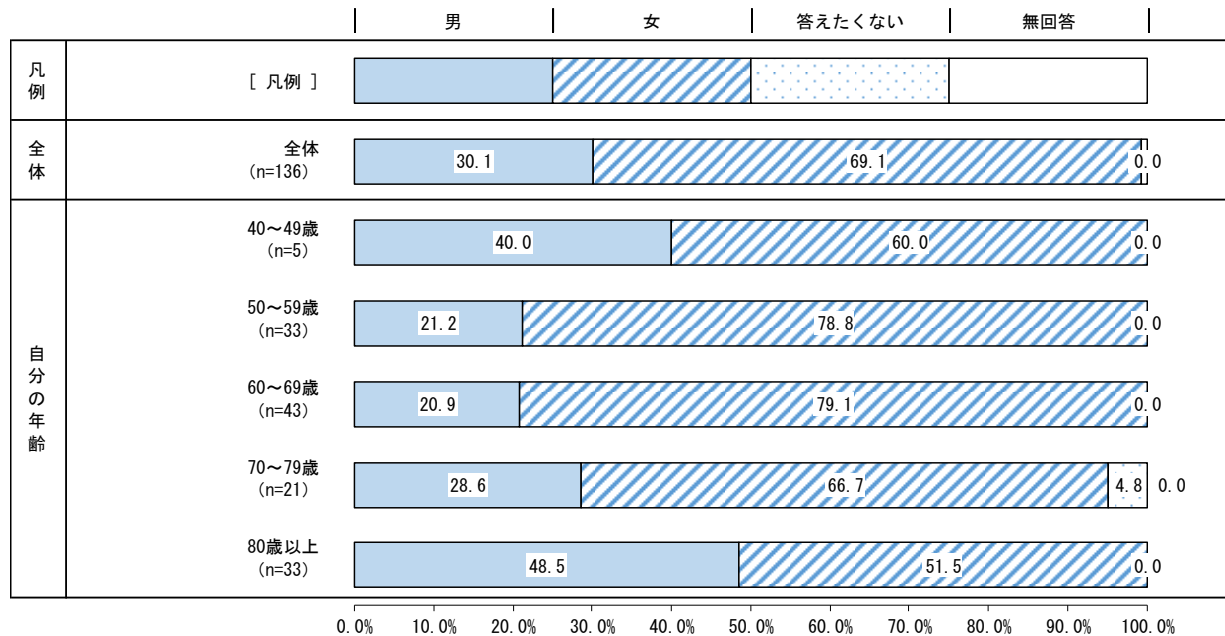


2. 認知症の症状がある方の支援について

(1) 介護者の性別

【家族】

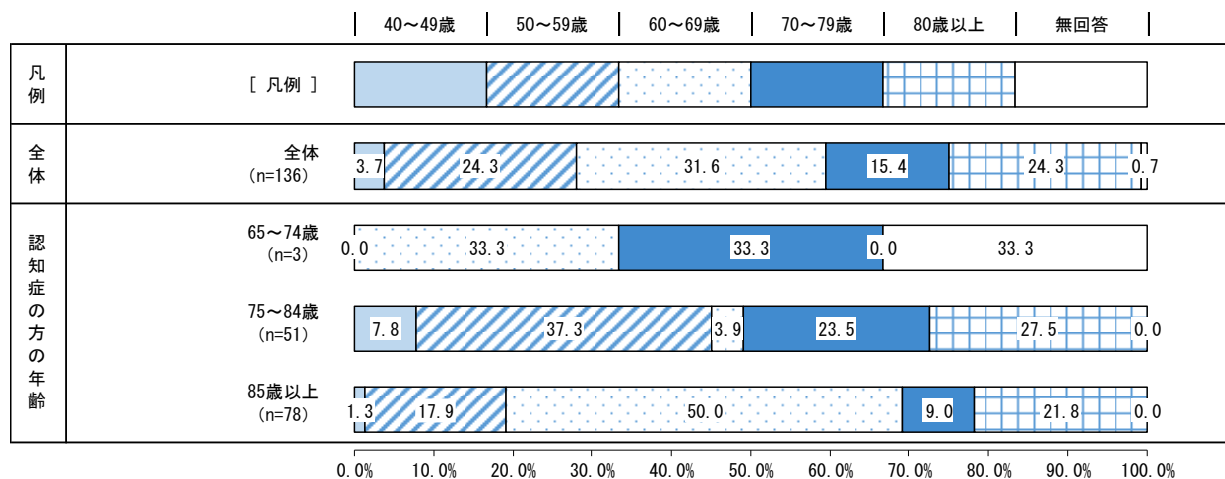
- 「女」が 69.1%で最も多く、次いで「男」が 30.1%、「答えたくない」が 0.7%となっています。



(2) 介護者の年齢

【家族】

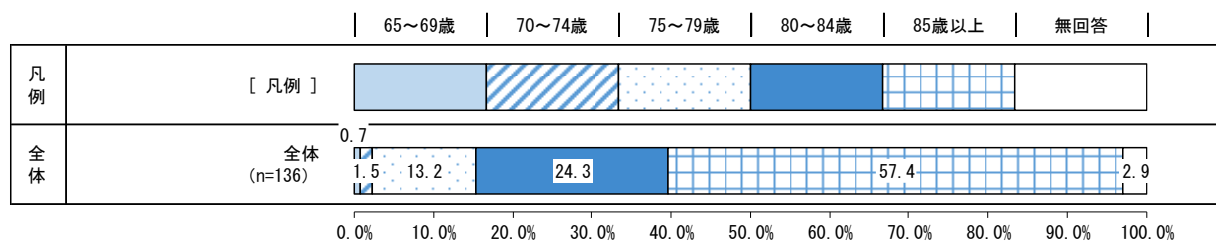
- 「60～69歳」が 31.6%で最も多く、次いで「50～59歳」「80歳以上」が 24.3%、「70～79歳」が 15.4%となっています。



(3) 認知症の症状がある方の年齢

【家族】

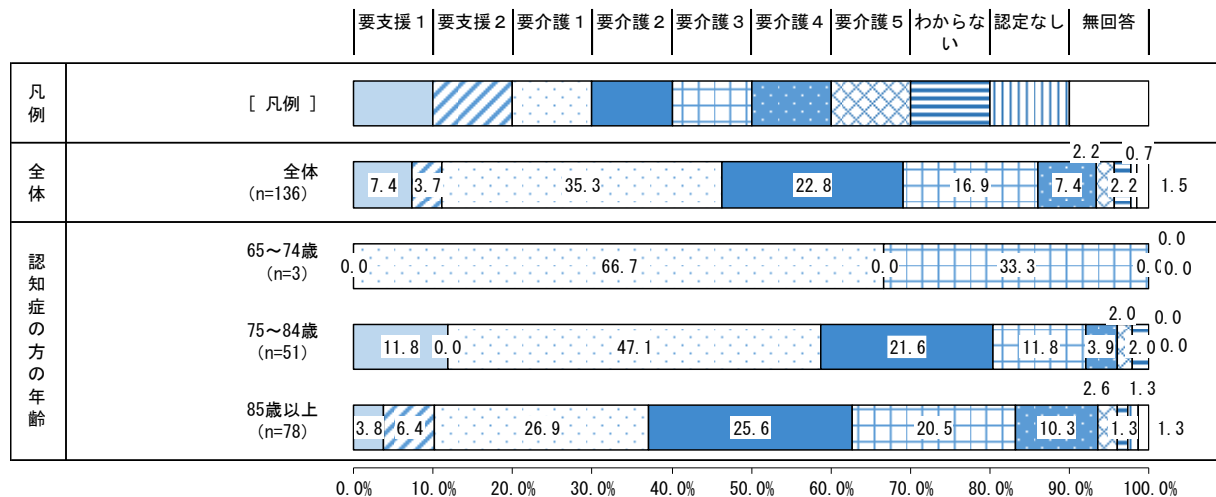
- 「85歳以上」が57.4%で最も多く、次いで「80～84歳」が24.3%、「75～79歳」が13.2%となっています。



(4) 認知症の症状がある方の介護度

【家族】

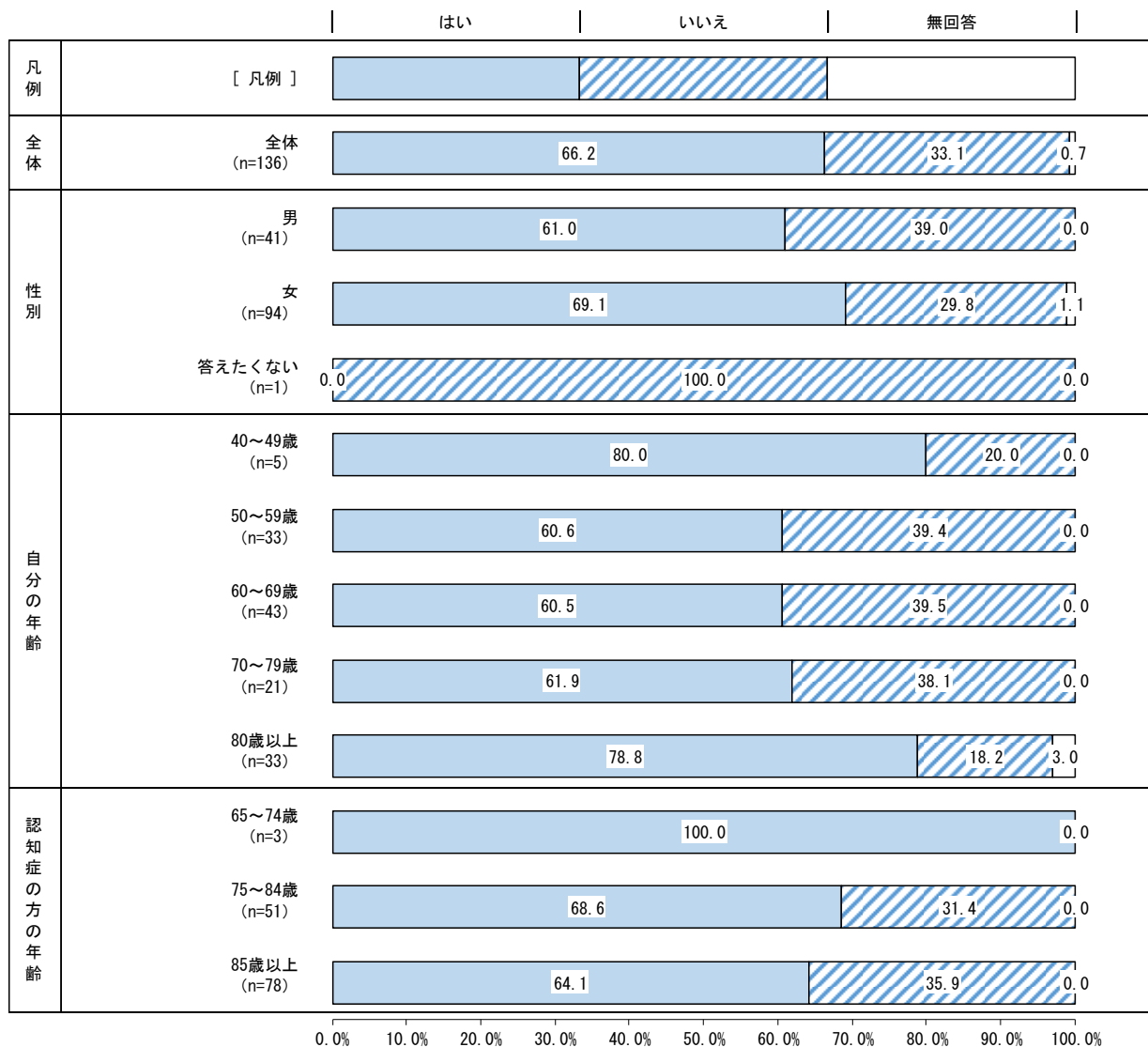
- 「要介護1」が35.3%で最も多く、次いで「要介護2」が22.8%、「要介護3」が16.9%となっています。



(5) 回答者が主な介護者であるか

【家族】

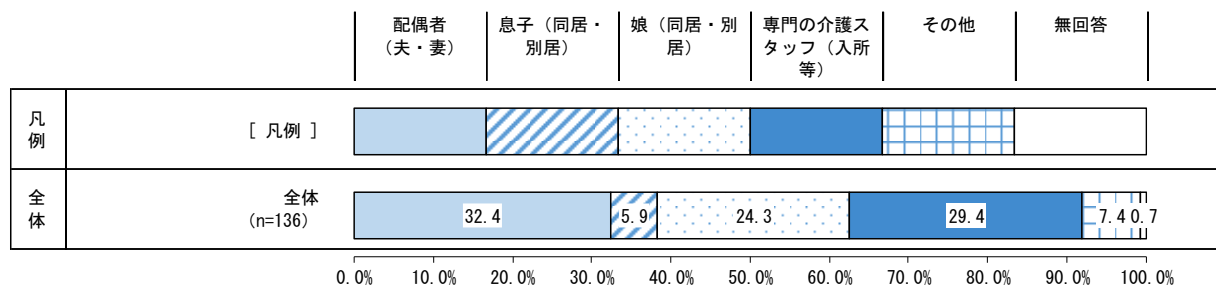
○ 「はい」が66.2%、「いいえ」が33.1%となっています。



(6) 主な介護者

【家族】

- 「配偶者（夫・妻）」が 32.4%で最も多く、次いで「専門の介護スタッフ（入所等）」が 29.4%、「娘（同居・別居）」が 24.3%となっています。



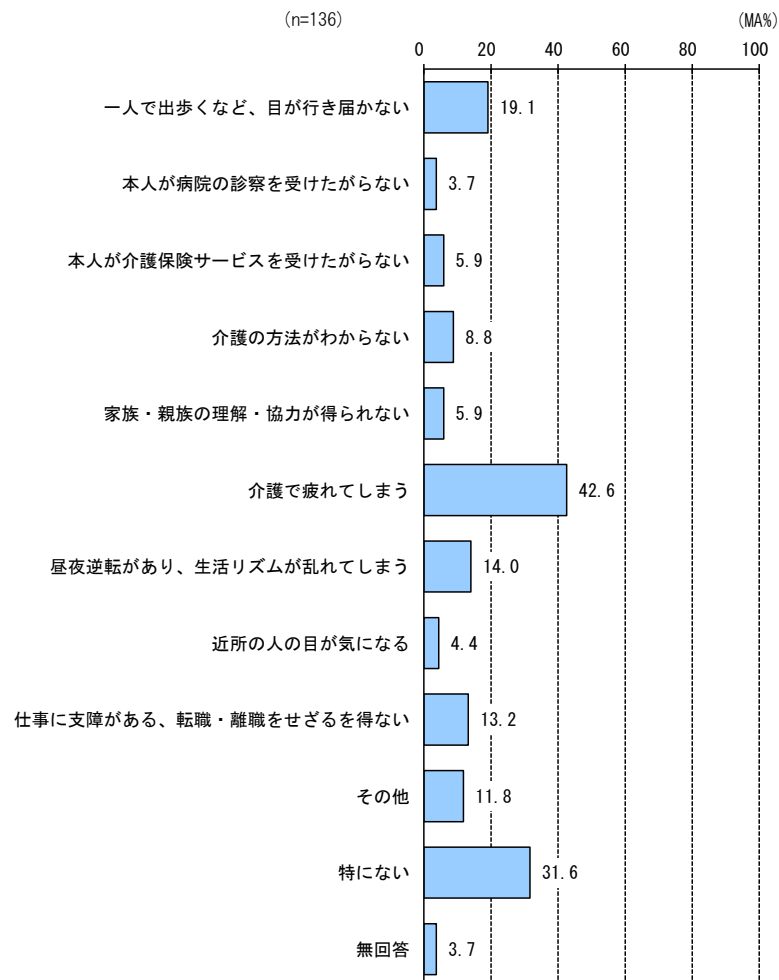
単位：%

		母数 (n)	問①-6 主にどなたが認知症の症状がある方の介護を行っていますか。					
			配偶者 (夫・妻)	息子 (同居・別居)	娘 (同居・別居)	専門の介護 スタッフ (入所等)	その他	無回答
全体		136	32.4	5.9	24.3	29.4	7.4	0.7
性別	男	41	△ 43.9	△ 17.1	-	31.7	7.3	-
	女	94	27.7	1.1	△ 35.1	27.7	7.4	1.1
	答えたくない	1	-	-	-	△100.0	-	-
自分の年齢	40～49歳	5	-	△ 20.0	△ 40.0	-	40.0	-
	50～59歳	33	▼ 6.1	9.1	33.3	△ 39.4	12.1	-
	60～69歳	43	▼ 4.7	7.0	△ 44.2	△ 41.9	2.3	-
	70～79歳	21	△ 61.9	4.8	-	33.3	-	-
	80歳以上	33	△ 81.8	-	▼ 3.0	▼ 3.0	9.1	3.0
認知症の年齢	65～74歳	3	△ 66.7	-	-	33.3	-	-
	75～84歳	51	△ 43.1	3.9	21.6	19.6	11.8	-
	85歳以上	78	23.1	7.7	26.9	37.2	5.1	-
介護の知識の程度	要支援1・要支援2	15	△ 60.0	6.7	20.0	▼ 6.7	6.7	-
	要介護1・要介護2	79	29.1	3.8	26.6	30.4	10.1	-
	要介護3～5	36	▼ 22.2	11.1	25.0	△ 41.7	-	-
	わからない・認定なし	4	△ 75.0	-	-	-	25.0	-
介護者か	はい	90	△ 43.3	8.9	△ 36.7	▼ 5.6	5.6	-
	いいえ	45	▼ 11.1	-	-	△ 77.8	11.1	-

(7) 認知症の症状がある方の介護で困っていること（複数回答）

【家族】

- 「介護で疲れてしまう」が 42.6%で最も多く、次いで「特にない」が 31.6%、「一人で出歩くなど、目が行き届かない」が 19.1%となっています。



単位：％

		母数 (n)	問①-7 認知症の症状がある方の介護などで、困っていることは何ですか。(MA)					
			一人で出歩くなど、目が行き届かない	本人が病院の診察を受けたがらない	本人が介護保険サービスを受けたがらない	介護の方法がわからない	家族・親族の理解・協力が得られない	介護で疲れてしまう
全体		136	19.1	3.7	5.9	8.8	5.9	42.6
性別	男	41	△ 29.3	2.4	4.9	9.8	2.4	39.0
	女	94	14.9	4.3	6.4	8.5	7.4	43.6
答えたくない		1	-	-	-	-	-	△100.0
自分の年齢	40～49歳	5	20.0	-	-	-	△ 20.0	40.0
	50～59歳	33	24.2	-	9.1	6.1	-	48.5
	60～69歳	43	18.6	7.0	2.3	9.3	11.6	△ 53.5
	70～79歳	21	14.3	9.5	-	4.8	-	▼ 23.8
	80歳以上	33	15.2	-	12.1	15.2	6.1	36.4
認知症の年齢	65～74歳	3	△ 66.7	△ 33.3	-	△ 66.7	-	33.3
	75～84歳	51	19.6	-	5.9	5.9	3.9	37.3
	85歳以上	78	17.9	5.1	6.4	7.7	7.7	48.7
介護の認知度の認識	要支援1・要支援2	15	13.3	-	-	13.3	6.7	33.3
	要介護1・要介護2	79	16.5	2.5	6.3	10.1	7.6	39.2
	要介護3～5	36	△ 30.6	8.3	5.6	5.6	2.8	△ 58.3
	わからない・認定なし	4	-	-	-	-	-	▼ 25.0
介護主か	はい	90	16.7	4.4	8.9	8.9	6.7	52.2
	いいえ	45	24.4	2.2	-	8.9	4.4	▼ 24.4

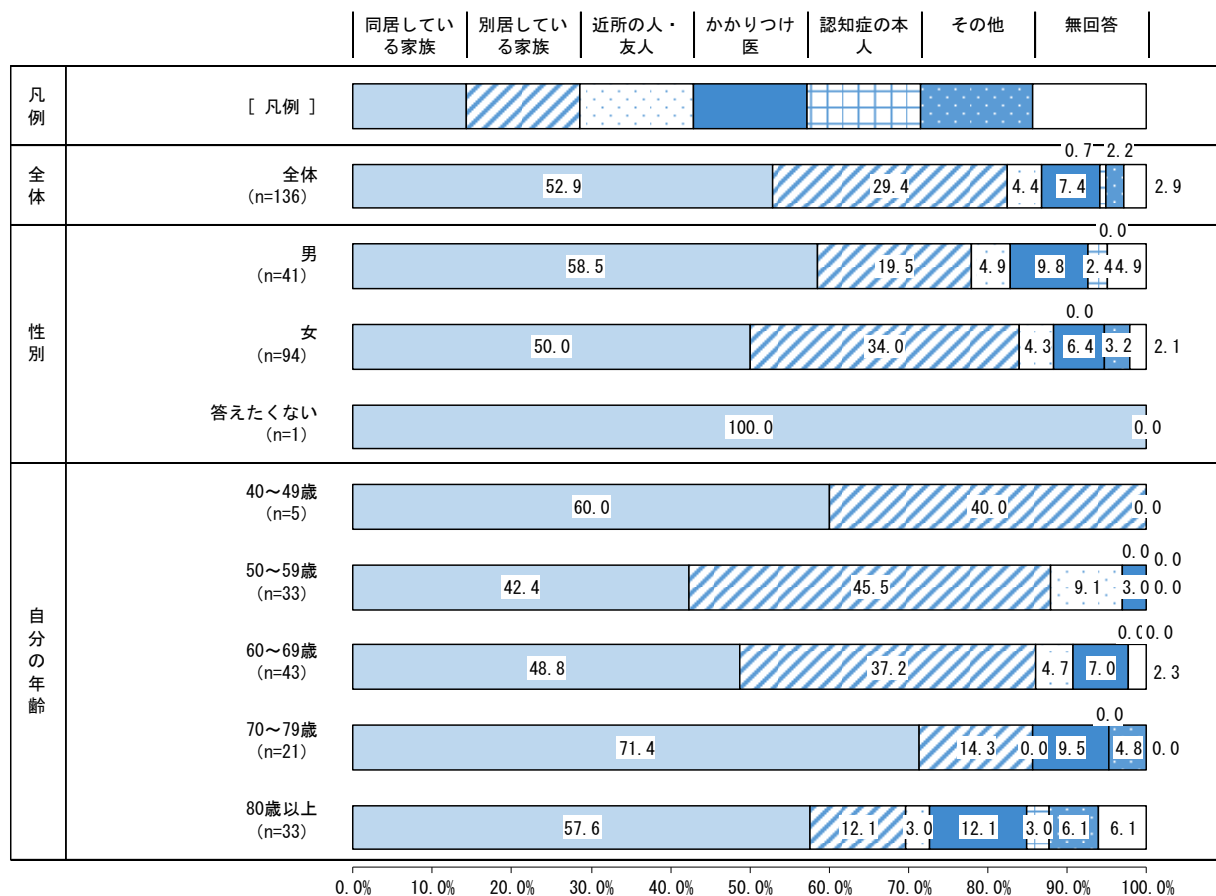
単位：％

		母数 (n)	問①-7 認知症の症状がある方の介護などで、困っていることは何ですか。(MA)					
			しやまう逆転があり、生活リズムが乱れて	近所の人の目が気になる	仕事を支障がある、転職・離職をせざるを得ない	その他	特にな	無回答
全体		136	14.0	4.4	13.2	11.8	31.6	3.7
性別	男	41	19.5	4.9	12.2	9.8	31.7	2.4
	女	94	11.7	4.3	13.8	12.8	31.9	4.3
答えたくない		1	-	-	-	-	-	-
自分の年齢	40～49歳	5	-	-	△ 40.0	-	40.0	-
	50～59歳	33	6.1	9.1	21.2	18.2	▼ 18.2	3.0
	60～69歳	43	23.3	-	16.3	9.3	34.9	2.3
	70～79歳	21	9.5	9.5	-	14.3	38.1	9.5
	80歳以上	33	12.1	3.0	6.1	9.1	36.4	3.0
認知症の年齢	65～74歳	3	△ 66.7	-	△ 33.3	-	-	-
	75～84歳	51	9.8	5.9	15.7	13.7	35.3	-
	85歳以上	78	15.4	3.8	11.5	11.5	30.8	3.8
介護の認知度の認識	要支援1・要支援2	15	6.7	6.7	13.3	6.7	33.3	-
	要介護1・要介護2	79	6.3	2.5	16.5	12.7	32.9	2.5
	要介護3～5	36	△ 36.1	8.3	8.3	13.9	27.8	2.8
	わからない・認定なし	4	-	-	-	-	△ 50.0	25.0
介護主か	はい	90	14.4	4.4	16.7	15.6	23.3	1.1
	いいえ	45	13.3	4.4	6.7	4.4	△ 48.9	6.7

(8) 認知症の方の変化に最初に気付いた人

【家族】

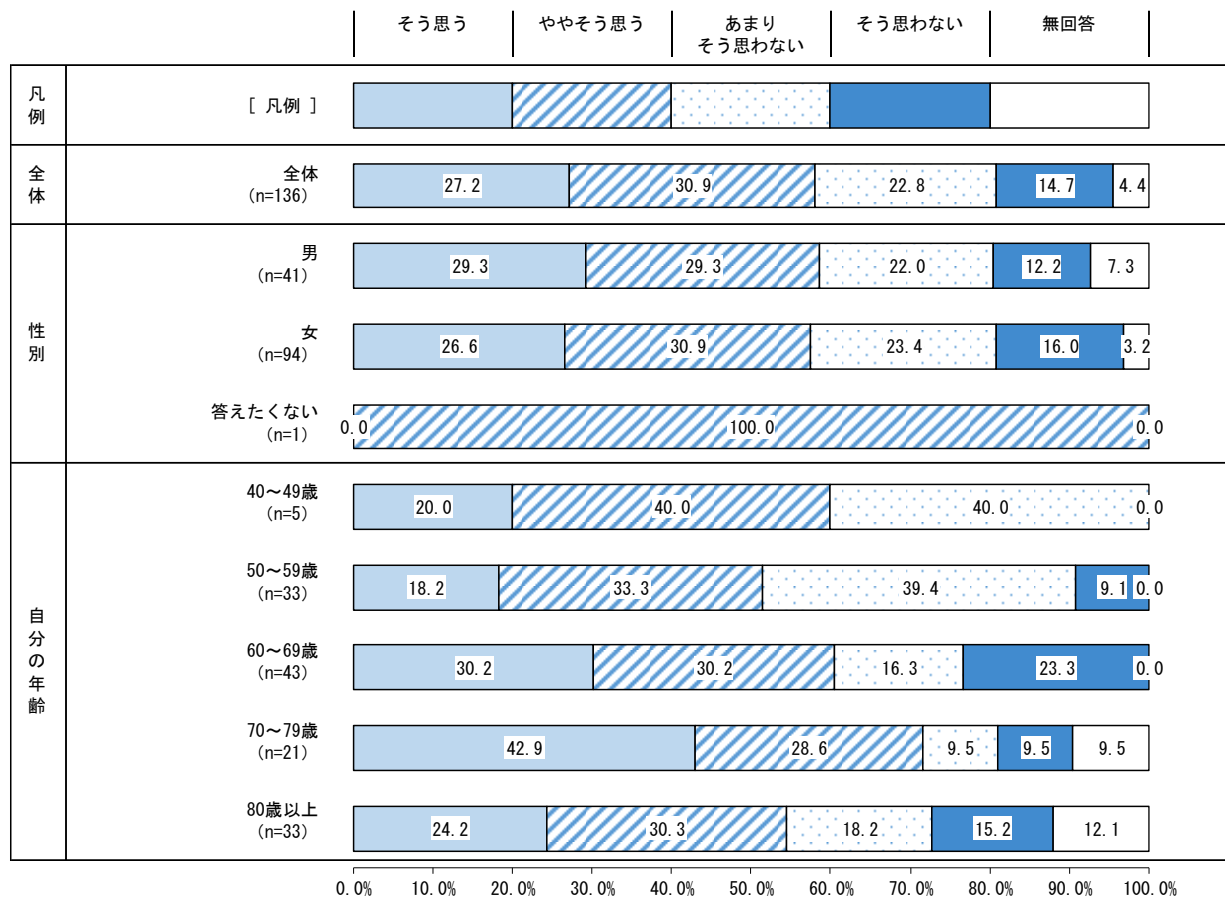
- 「同居している家族」が 52.9%で最も多く、次いで「別居している家族」が 29.4%、「かかりつけ医」が 7.4%となっています。



(9) 介護をする前と比べて、心身の負担がある中でも、自分らしく暮らせていると思うか

【家族】

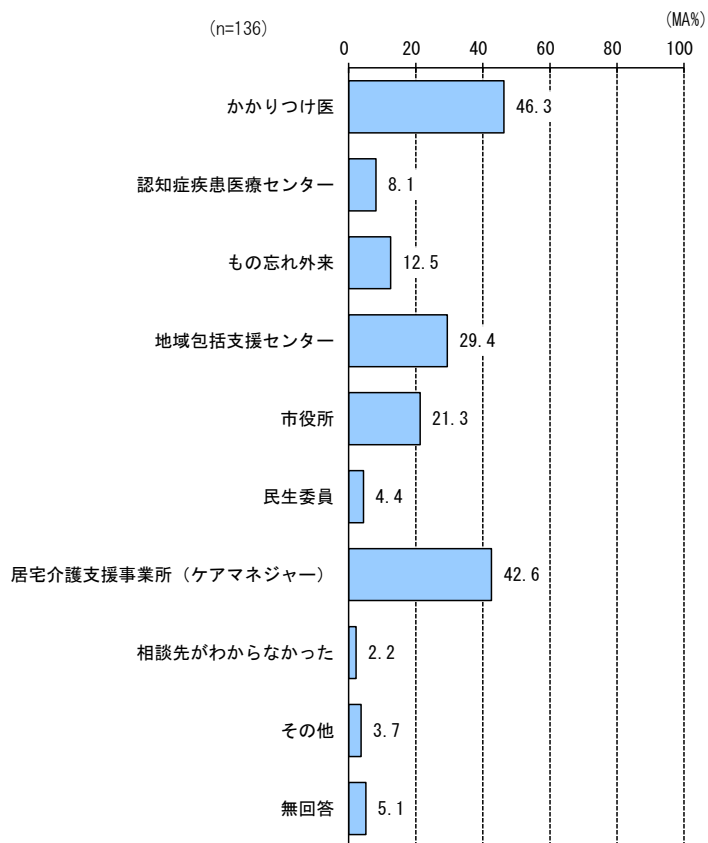
- 「ややそう思う」が 30.9%で最も多く、次いで「そう思う」が 27.2%、「あまりそう思わない」が 22.8%となっています。「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は 58.1%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 37.5%となっています。



(10) 認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外で知っている相談先（複数回答）

【家族】

- 「かかりつけ医」が 46.3%で最も多く、次いで「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が 42.6%、「地域包括支援センター」が 29.4%となっています。



3. 認知症バリアフリーについて

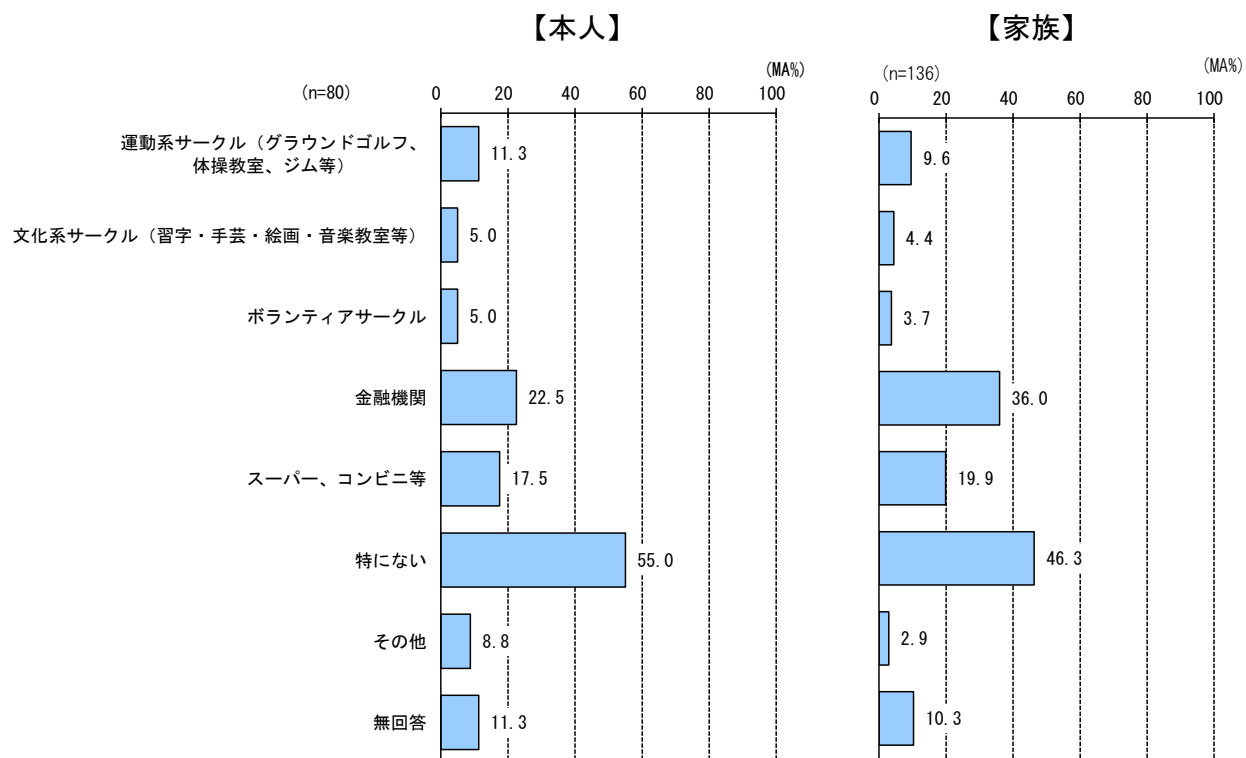
(1) 認知症と診断されたことで、使えなくなったサービス・施設（複数回答）

【本人】

- 「特にない」が 55.0%で最も多く、次いで「金融機関」が 22.5%、「スーパー、コンビニ等」が 17.5%となっています。

【家族】

- 「特にない」が 46.3%で最も多く、次いで「金融機関」が 36.0%、「スーパー、コンビニ等」が 19.9%となっており、本人と同様の傾向となっています。



(2) 認知症と診断されたことを周囲に伝えても良いと思うか

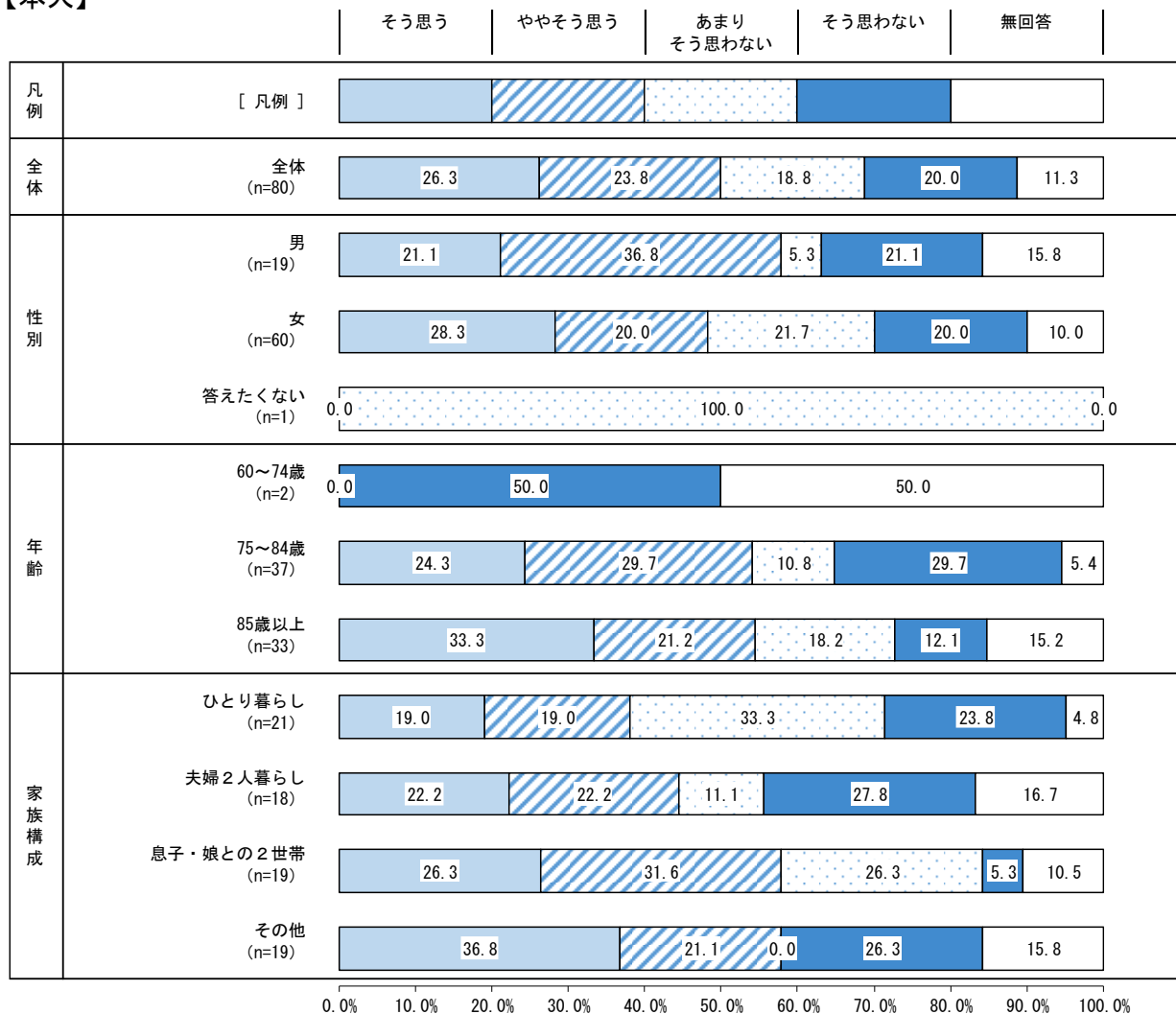
【本人】

- 「そう思う」が 26.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 23.8%、「そう思わない」が 20.0%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は 50.1%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 38.8%となっています。

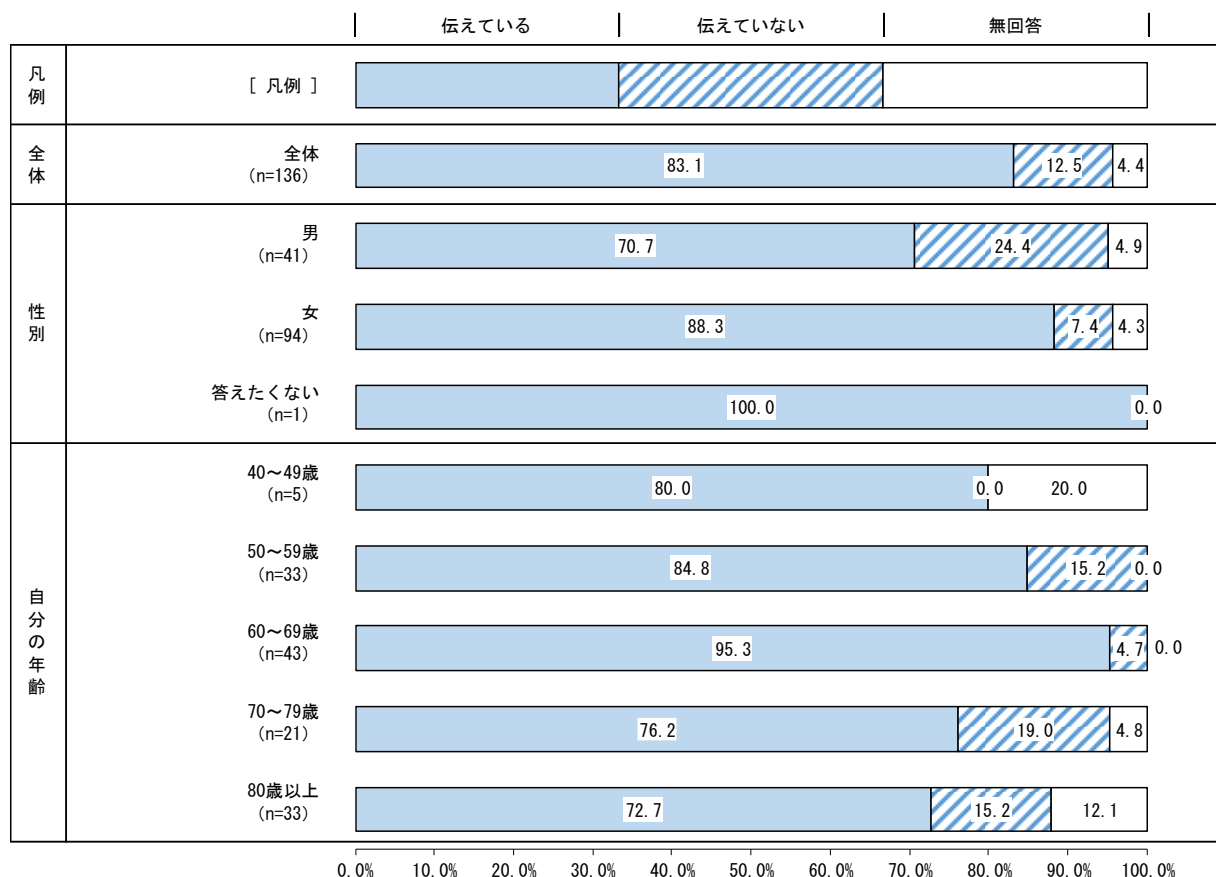
【家族】

- 家族では 83.1%が周囲に「伝えている」状況となっています。
- 家族が周囲に伝えた理由について、「本人について周囲の理解が必要」「家族や近所の人に協力してもらうため」「(介護者が) 職場などに理解してもらうため」「(介護について) わかってほしいから」などの記載があります。

【本人】



【家族】



【家族】 伝えた理由（主な自由記載内容）

- ・ 本人が本人らしく尊重されて生きていくために、認知症であることも含めて周囲の理解が必要だと思ったから。
- ・ 近所の方に見守りなどの協力をお願いするため。
- ・ 徘徊したときに気付いてほしい。
- ・ 家族に協力してもらいたい。
- ・ 近所に正確な情報が伝わったほうが良いと思ったから。
- ・ （介護のため）仕事も休みがちになりやすいので、職場や周りの人に理解してもらうため。
- ・ 伝えている人もいれば伝えていない人もいます。その人との信頼関係だと思います。
- ・ 体験している事、感じている事を誰かに聞いてほしいから。わかってほしいから。
- ・ 民生委員には伝えているが、近所の人にはうわさが広がるので、話していない。

(3) 【伝えて良いと思わない人・伝えていない人】その理由（複数回答）

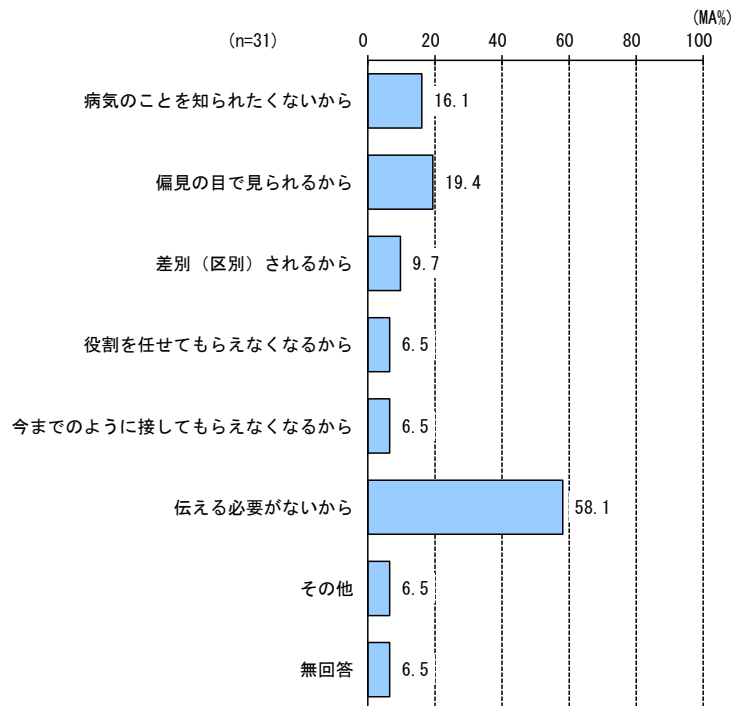
【本人】

- 「伝える必要がないから」が 58.1%で最も多く、次いで「偏見の目で見られるから」が 19.4%、「病気のことを知られたくないから」が 16.1%となっています。

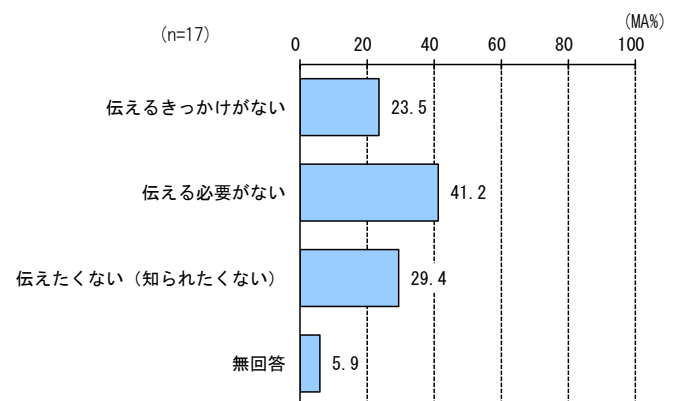
【家族】

- 家族が周囲に伝えていない理由は、「伝える必要がない」が 41.2%で最も多く、次いで「伝えたくない（知られたくない）」が 29.4%、「伝えるきっかけがない」が 23.5%となっています。

【本人】



【家族】



(4) 認知症の方が地域社会の中で、人格を持った一人の人間として尊重されていると思うか

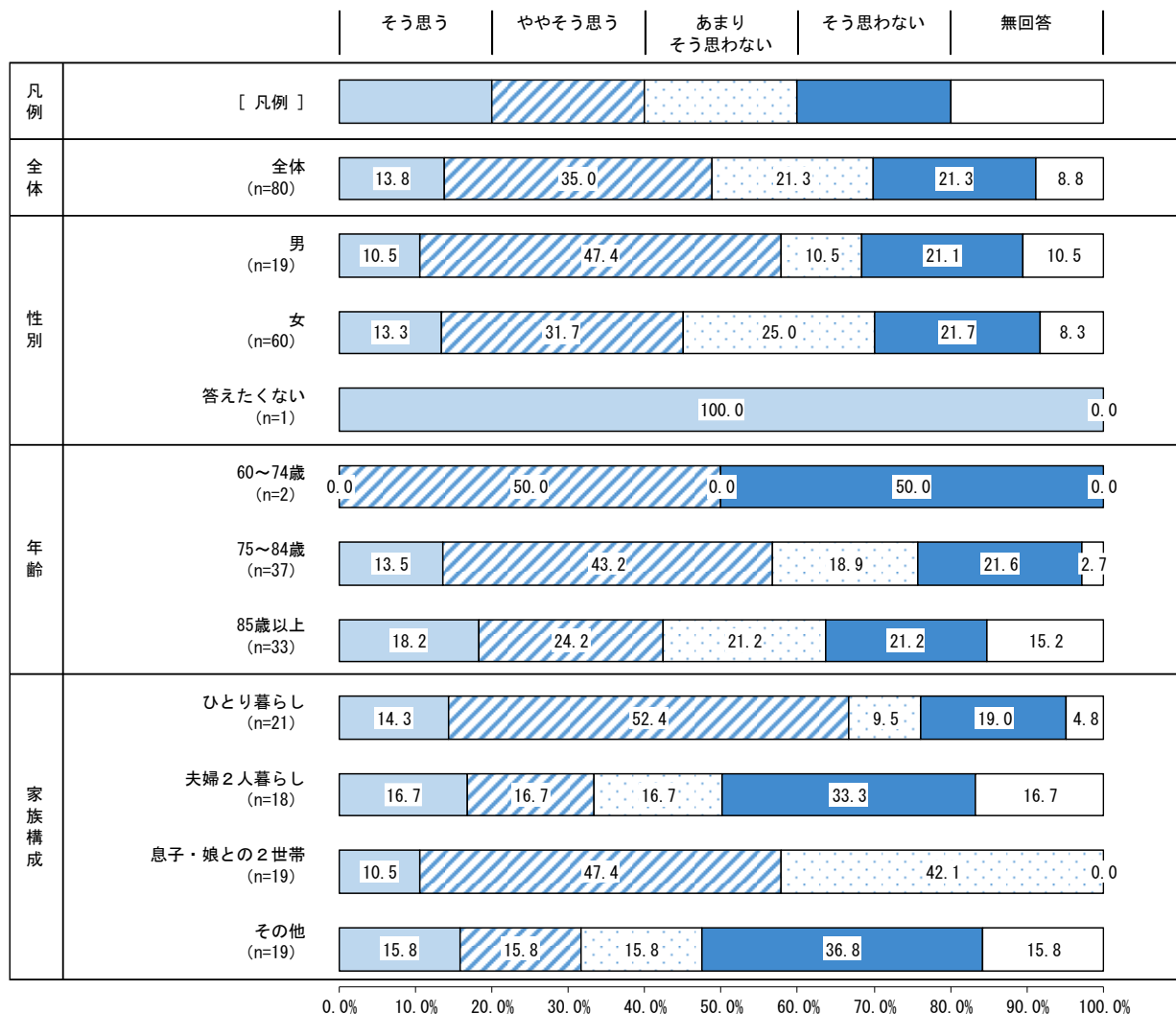
【本人】

- 「ややそう思う」が 35.0%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」「そう思わない」が 21.3%、「そう思う」が 13.8%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は48.8%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は42.6%となっています。

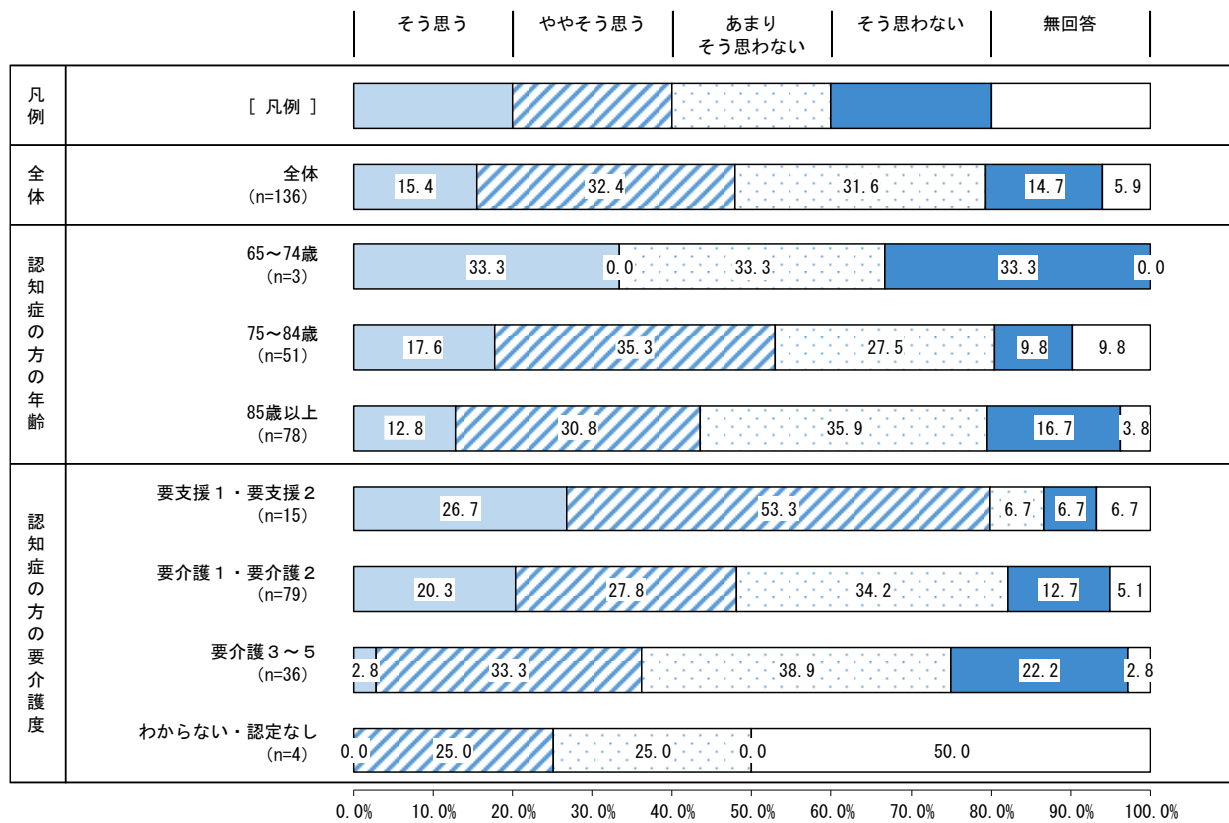
【家族】

- 「ややそう思う」が 32.4%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 31.6%、「そう思う」が 15.4%となっています。
- 「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う方”は47.8%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は46.3%となっています。

【本人】



【家族】

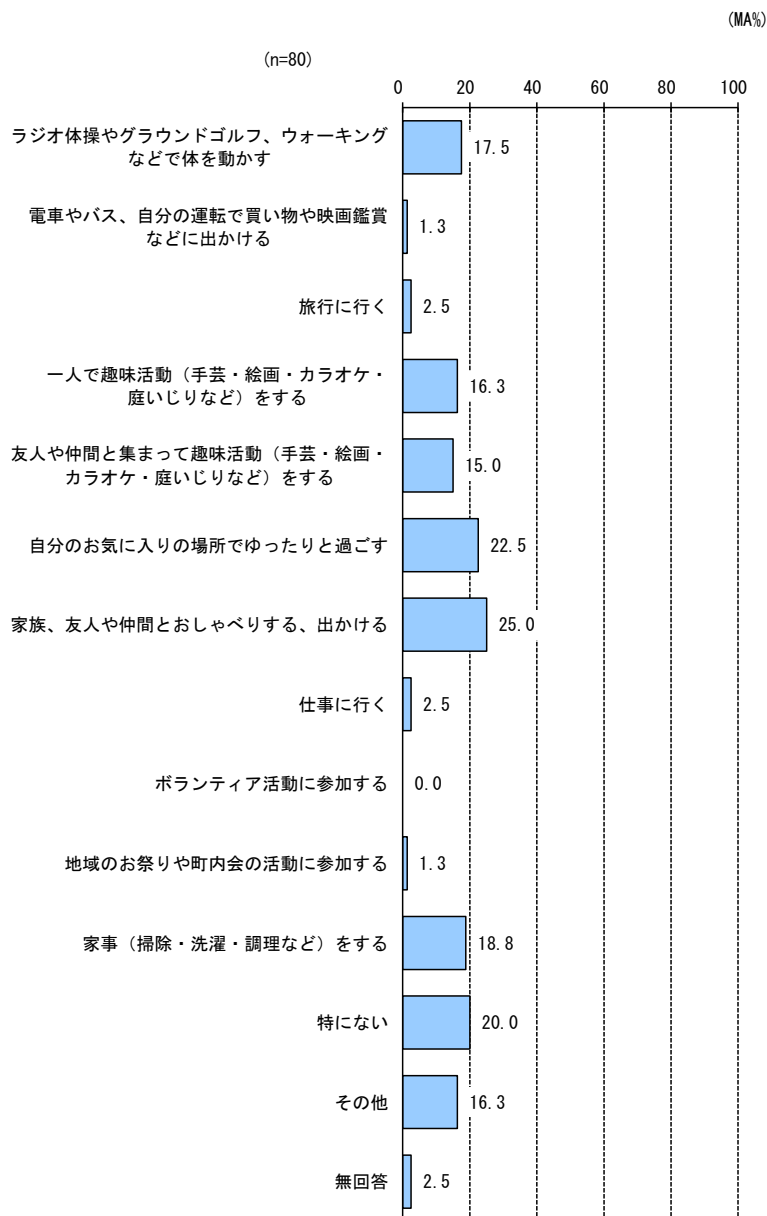


4. 認知症の人の生活について

(1) 現在、楽しいと感じていることや、ずっと続けていること（複数回答）

【本人】

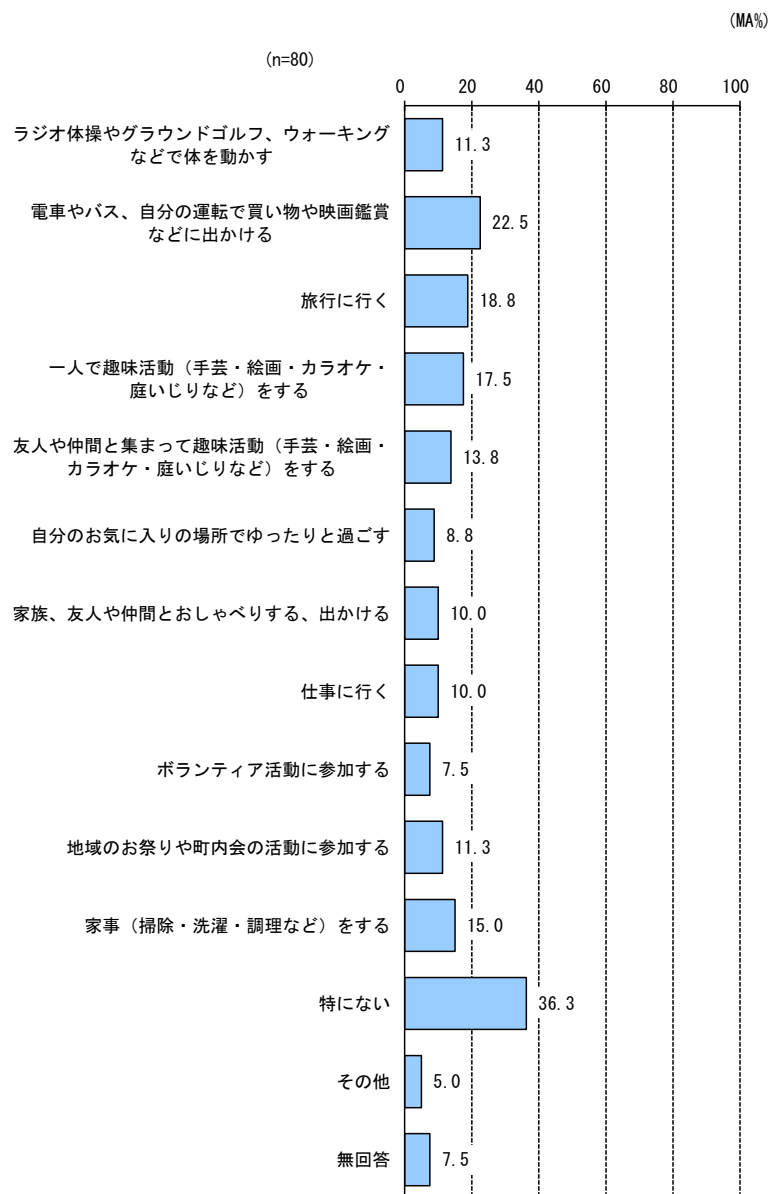
○ 「家族、友人や仲間とおしゃべりする、出かける」が25.0%で最も多く、次いで「自分のお気に入りの場所でゆったりと過ごす」が22.5%、「特にない」が20.0%となっています。



(2) 認知症になって諦めたこと（複数回答）

【本人】

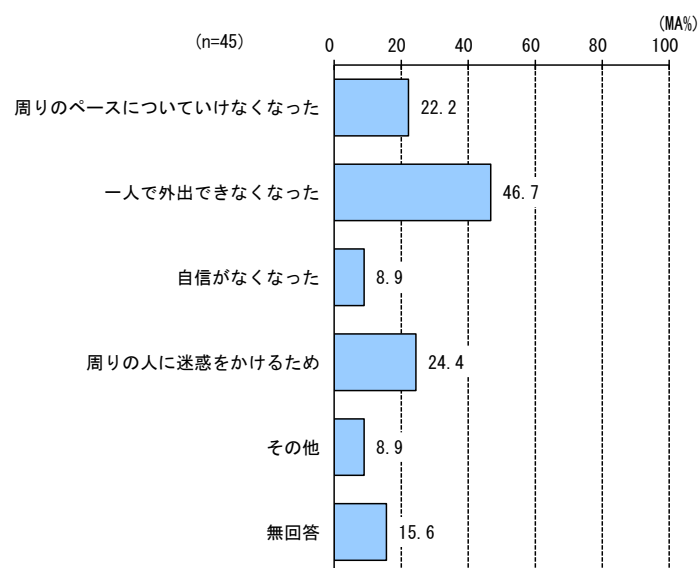
- 「特にない」が36.3%で最も多く、次いで「電車やバス、自分の運転で買い物や映画鑑賞などに出かける」が22.5%、「旅行に行く」が18.8%となっています。



(3) 諦めた理由 (複数回答)

【本人】

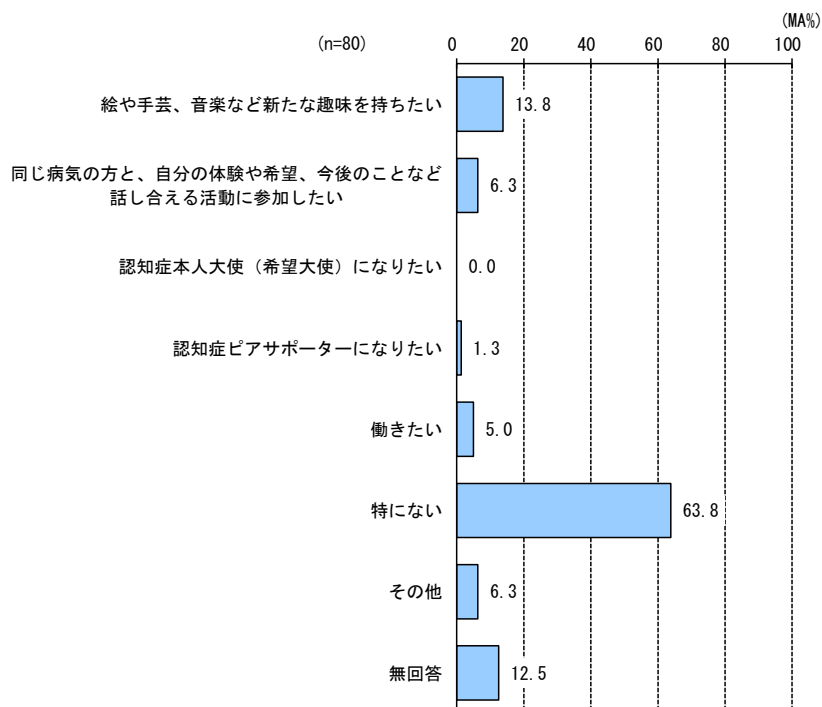
- 「一人で外出できなくなった」が46.7%で最も多く、次いで「周りの人に迷惑をかけるため」が24.4%、「周りのペースについていけなくなった」が22.2%となっています。



(4) 認知症と診断された後で、新たにやりたいこと（複数回答）

【本人】

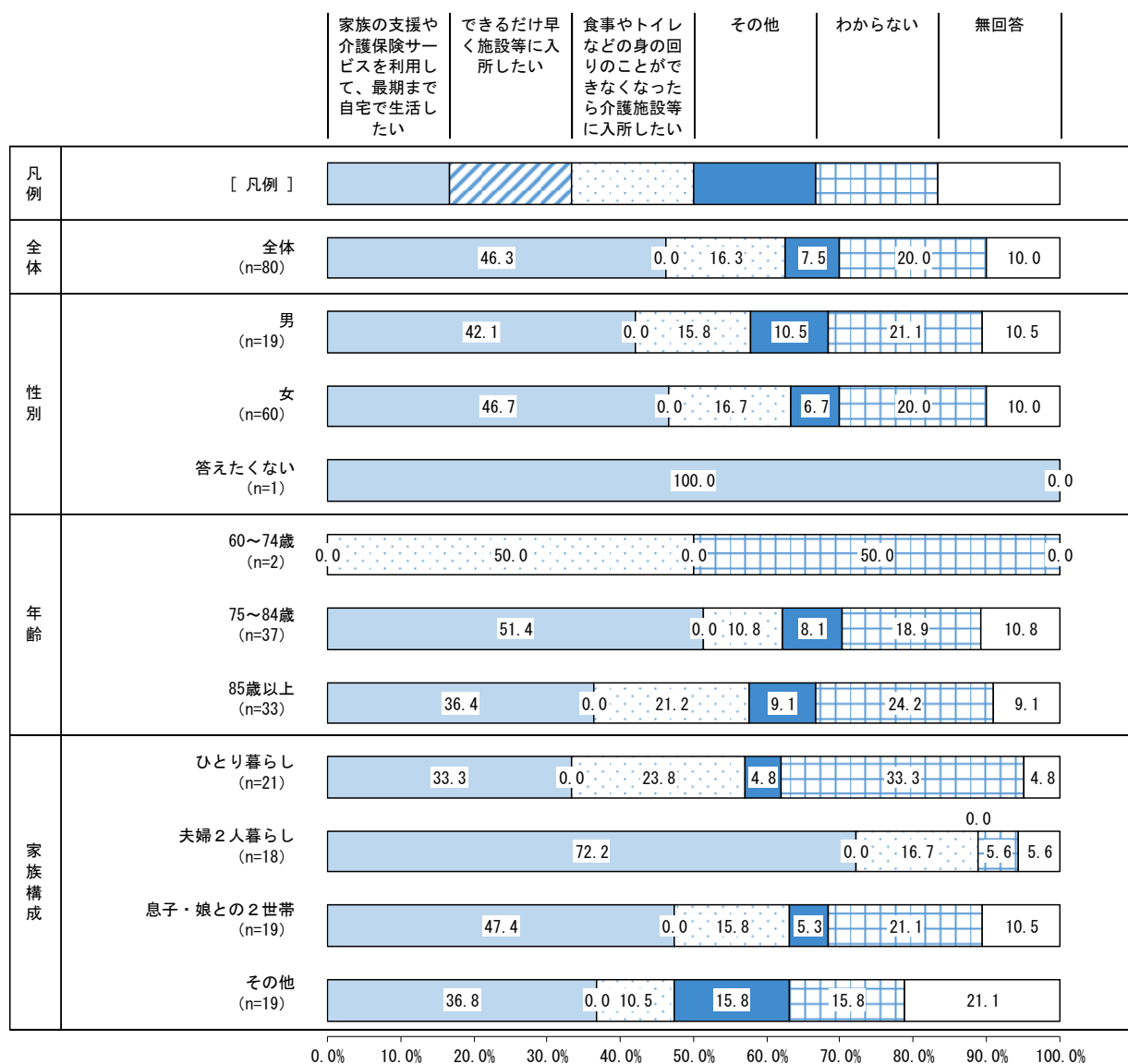
- 「特にない」が 63.8%で最も多く、次いで「絵や手芸、音楽など新たな趣味を持ちたい」が 13.8%、「同じ病気の方と、自分の体験や希望、今後のことなど話し合える活動に参加したい」が 6.3%となっています。



(5) 今後の生活についての考え

【本人】

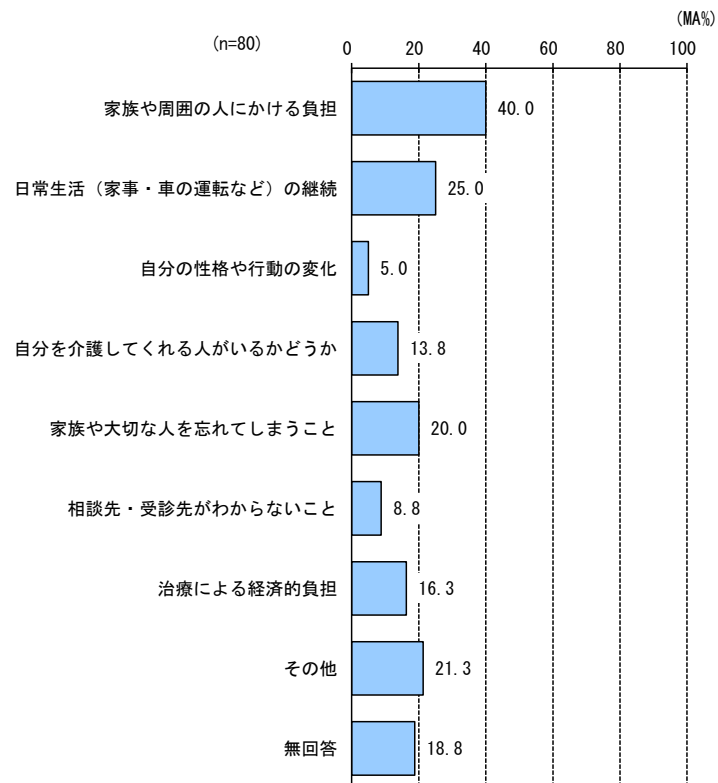
- 「家族の支援や介護保険サービスを利用して、最期まで自宅で生活したい」が46.3%で最も多く、次いで「わからない」が20.0%、「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設等に入所したい」が16.3%となっています。



(6) 認知症と診断された時、不安に感じたこと（複数回答）

【本人】

- 「家族や周囲の人にかかる負担」が40.0%で最も多く、次いで「日常生活（家事・車の運転など）の継続」が25.0%、「家族や大切な人を忘れてしまうこと」が20.0%となっています。



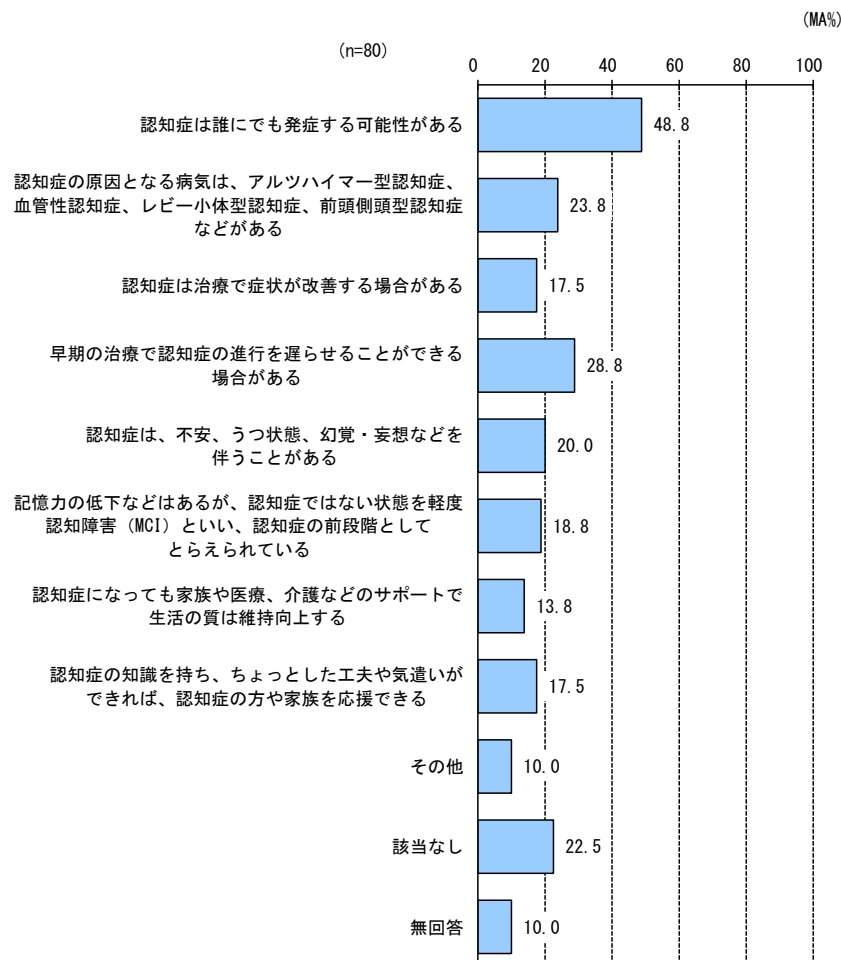
(7) 認知症について知っていること（複数回答）

【本人】

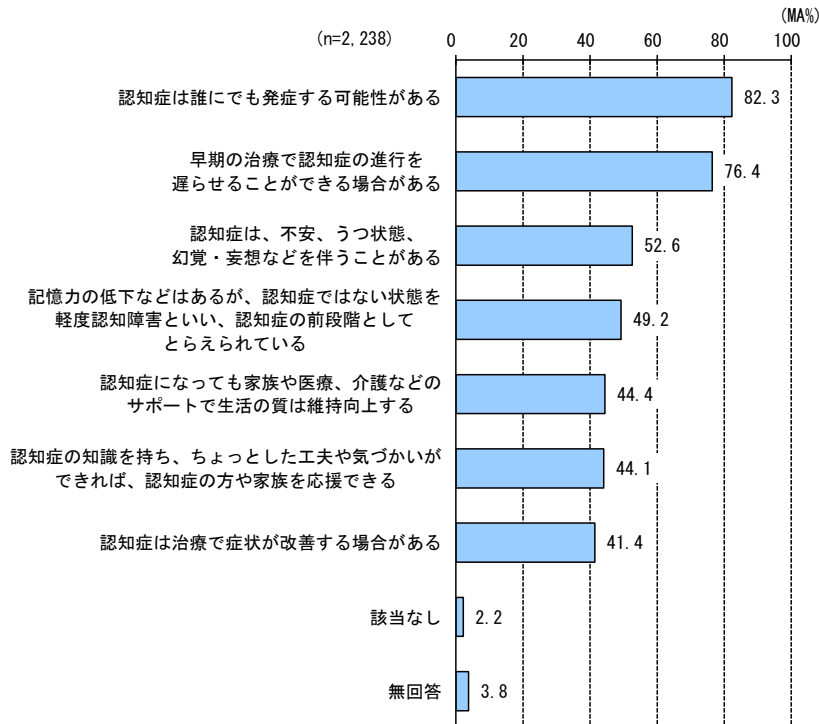
- 「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が48.8%で最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」が28.8%、「認知症の原因となる病気は、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがある」が23.8%となっています。

【一般高齢者（高齢者実態調査）】

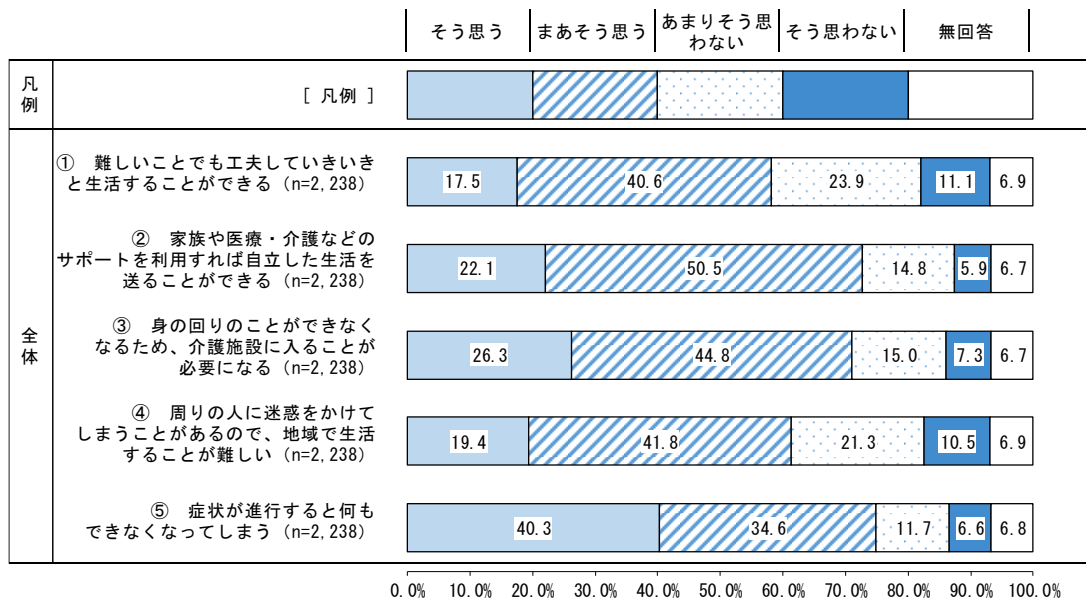
- 「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が82.3%で最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」が76.4%、「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」が52.6%となっています。
- 一般高齢者の認知症に対するイメージは、サポートがあれば自立した生活を送ることができると考えている一方で、「症状が進行すると何もできなくなってしまう」が約4割となっており、地域での生活が難しくなり施設に入る必要があるとも考えています。



【一般高齢者（高齢者実態調査）】



【認知症に対するイメージ 一般高齢者（高齢者実態調査）】



(8) 認知症の方や家族への支援で今後充実してほしいと思うもの（複数回答）

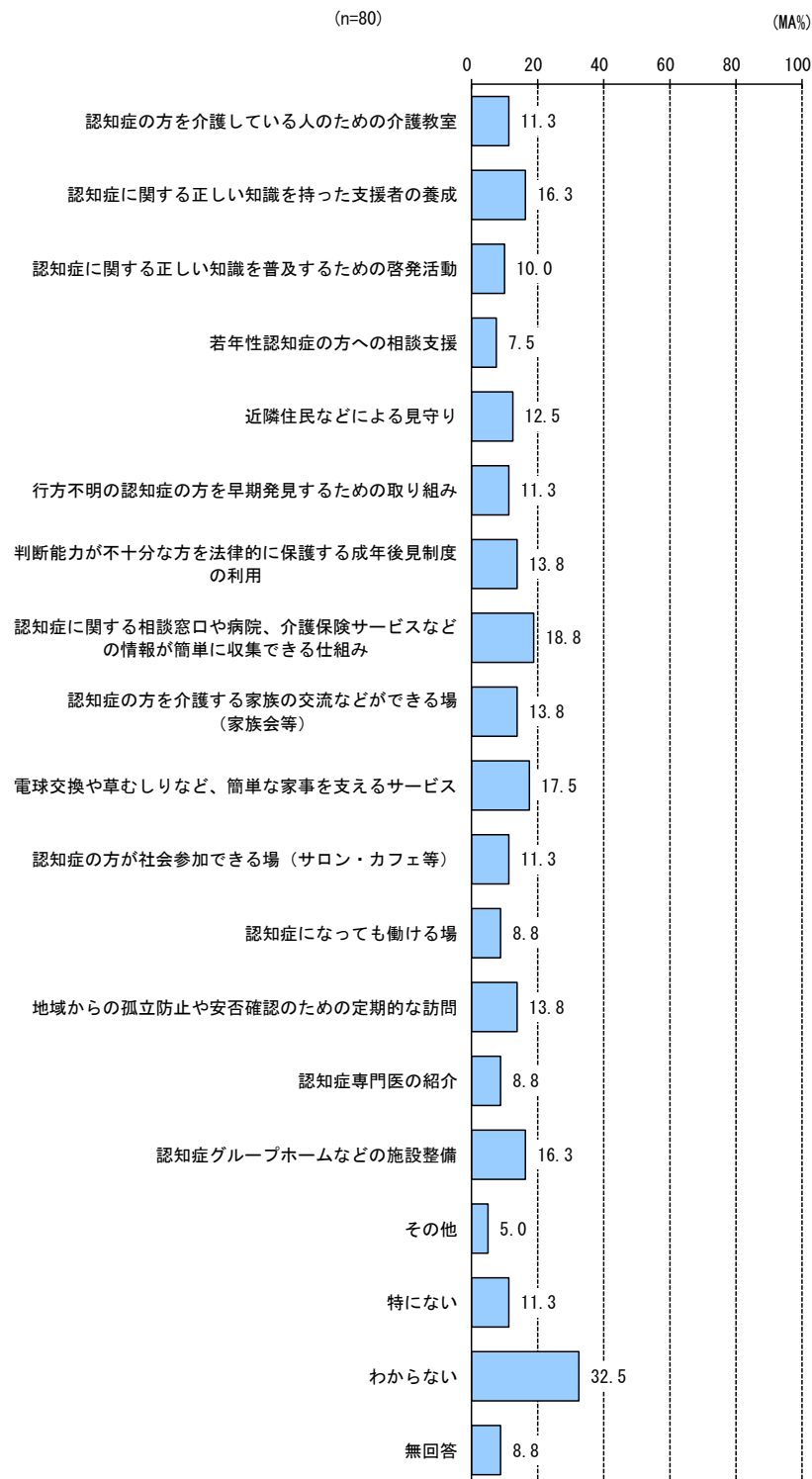
【本人】

- 「わからない」が32.5%で最も多く、次いで「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が18.8%、「電球交換や草むしりなど、簡単な家事を支えるサービス」が17.5%となっています。

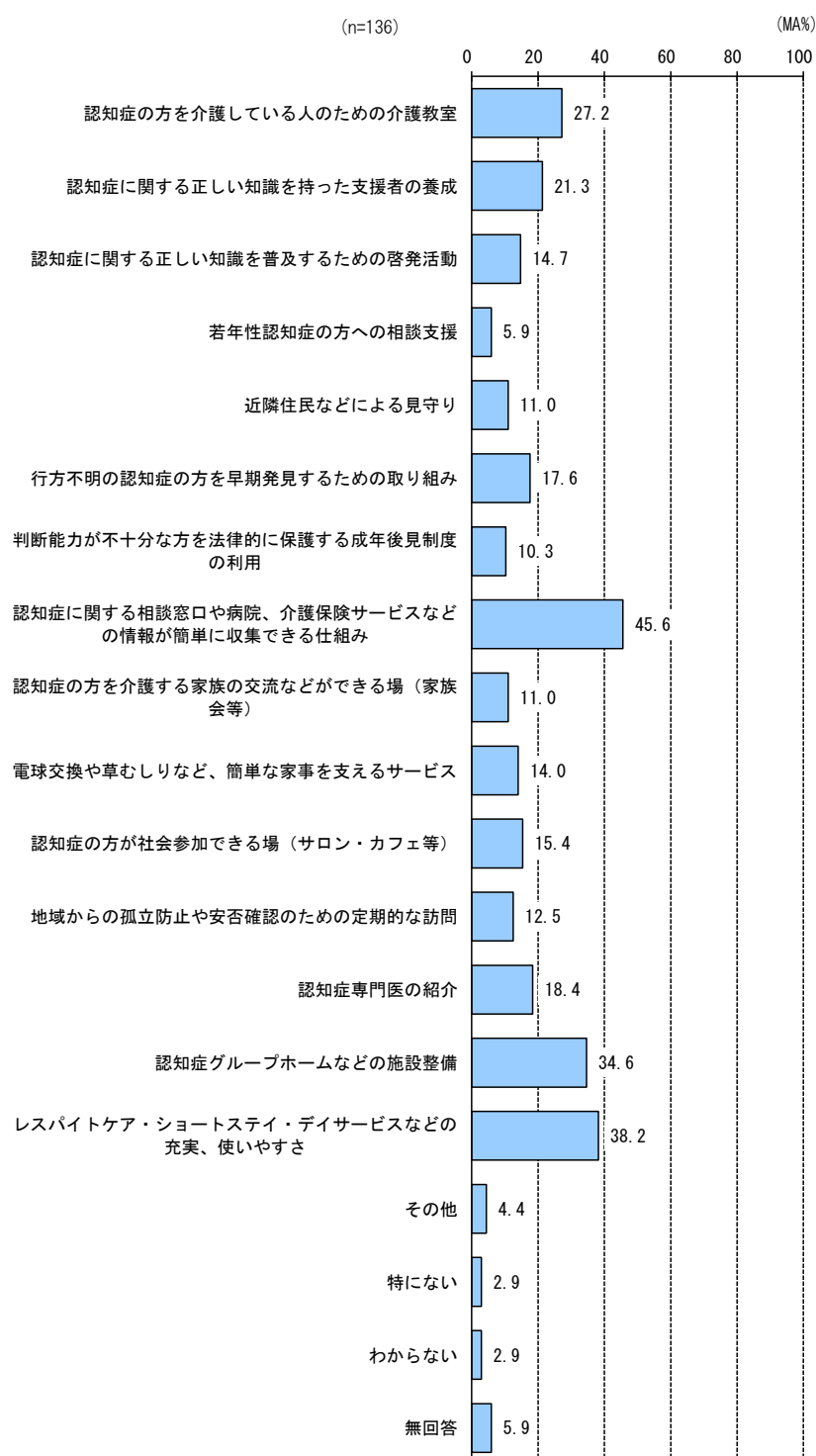
【家族】

- 家族では、「認知症に関する相談窓口や病院、介護保険サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が45.6%で最も多く、次いで「レスパイトケア・ショートステイ・デイサービスなどの充実、使いやすさ」が38.2%、「認知症グループホームなどの施設整備」が34.6%となっています。

【本人】



【家族】



5. 行政の取り組みについて

(1) 行政の取り組みの利用状況

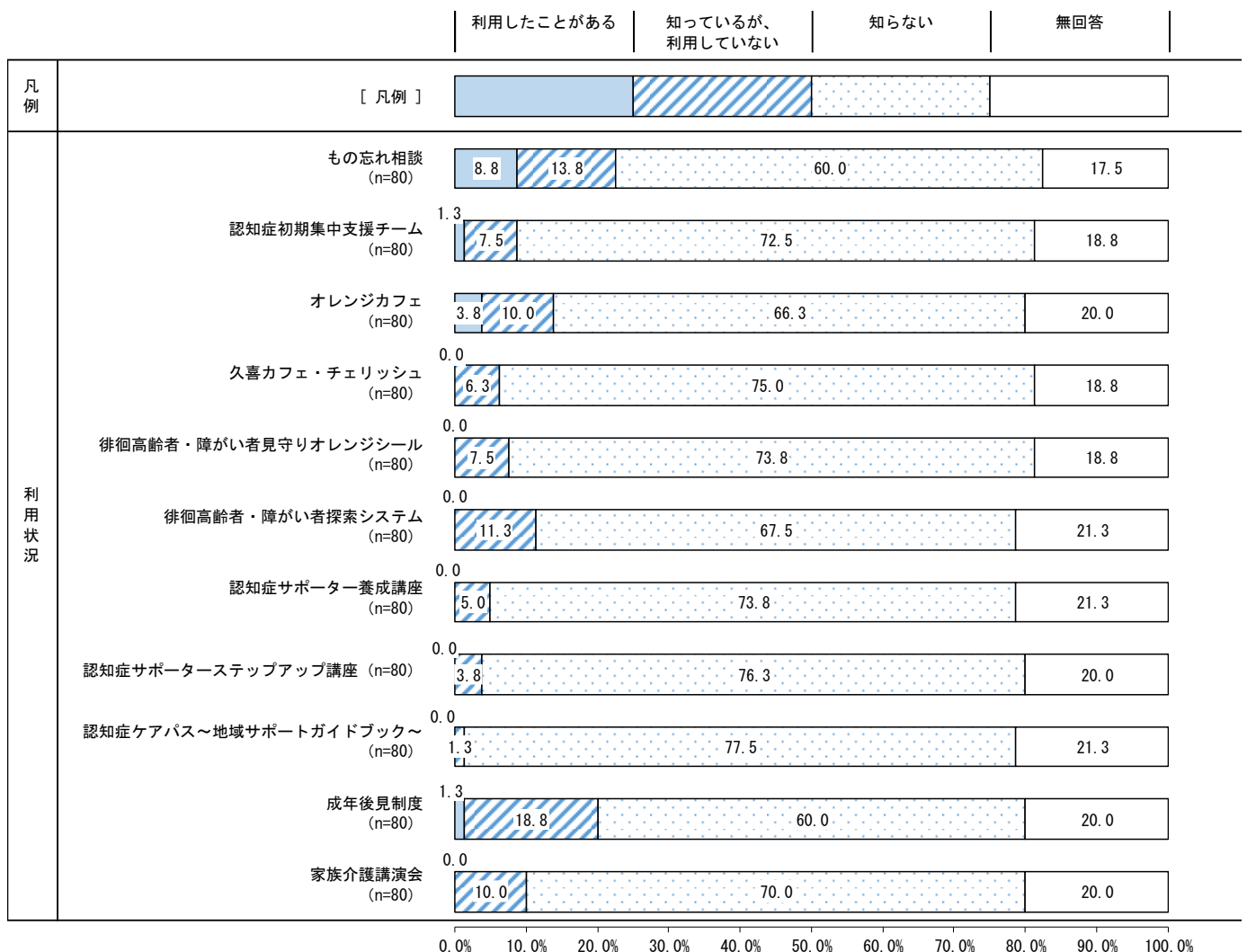
【本人】

- いずれの取り組みも、「知らない」が6割以上となっており、「利用したことがある」取り組みは、「もの忘れ相談」が8.8%となっています。「知っているが利用していない」取り組みは、「成年後見制度」が18.8%、「もの忘れ相談」が13.8%、「徘徊高齢者・障がい者探索システム」が11.3%となっています。

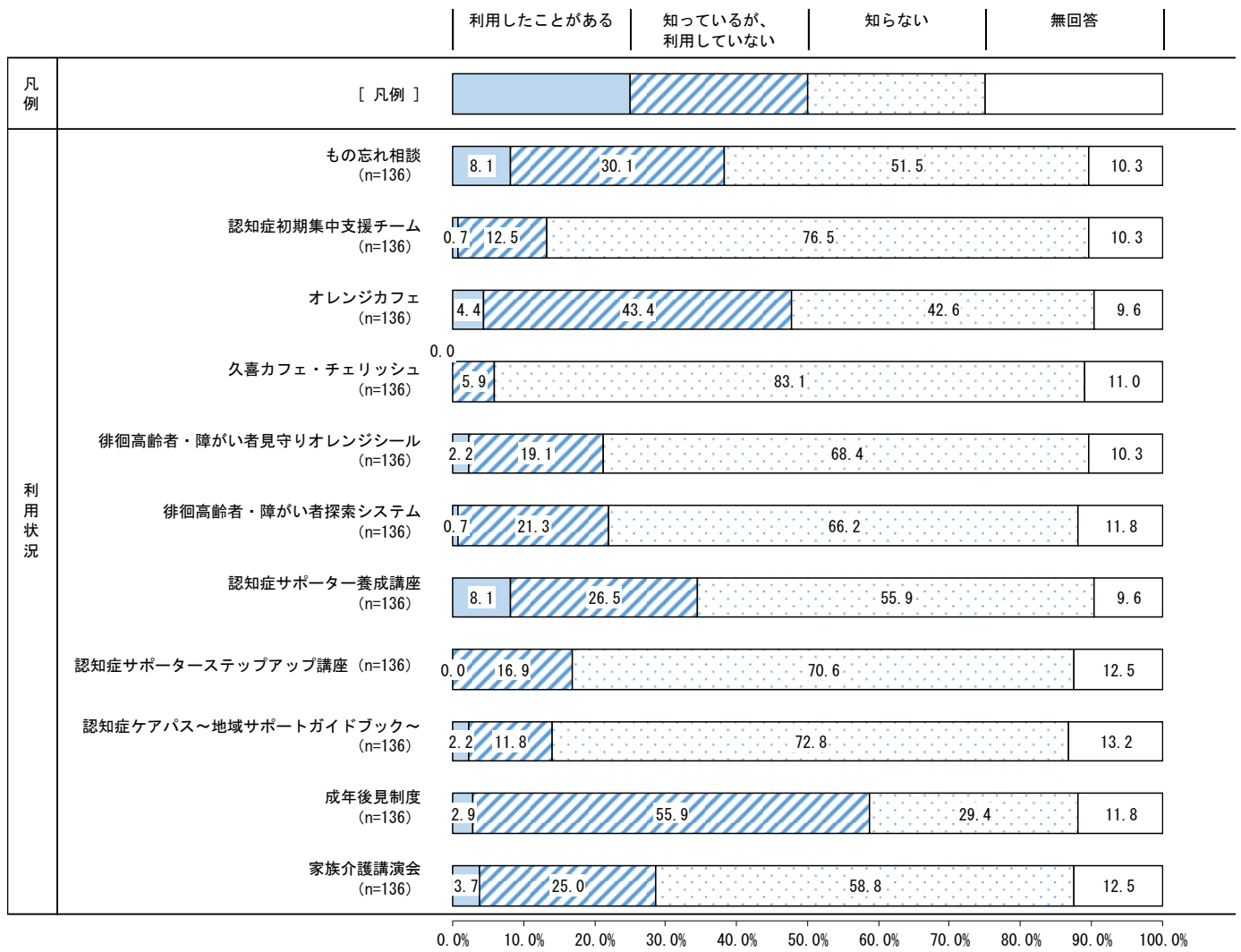
【家族】

- 家族では、「利用したことがある」取り組みは、「もの忘れ相談」「認知症サポーター養成講座」がともに8.1%となっています。「知っているが利用していない」取り組みは、「成年後見制度」が55.9%、「オレンジカフェ」が43.4%、「もの忘れ相談」が30.1%となっています。
- 一方、「認知症初期集中支援チーム」「久喜カフェ・チェリッシュ」「認知症サポーターステップアップ講座」「認知症ケアパス～地域サポートガイドブック～」は「知らない」が7割を超えています。

【本人】



【家族】



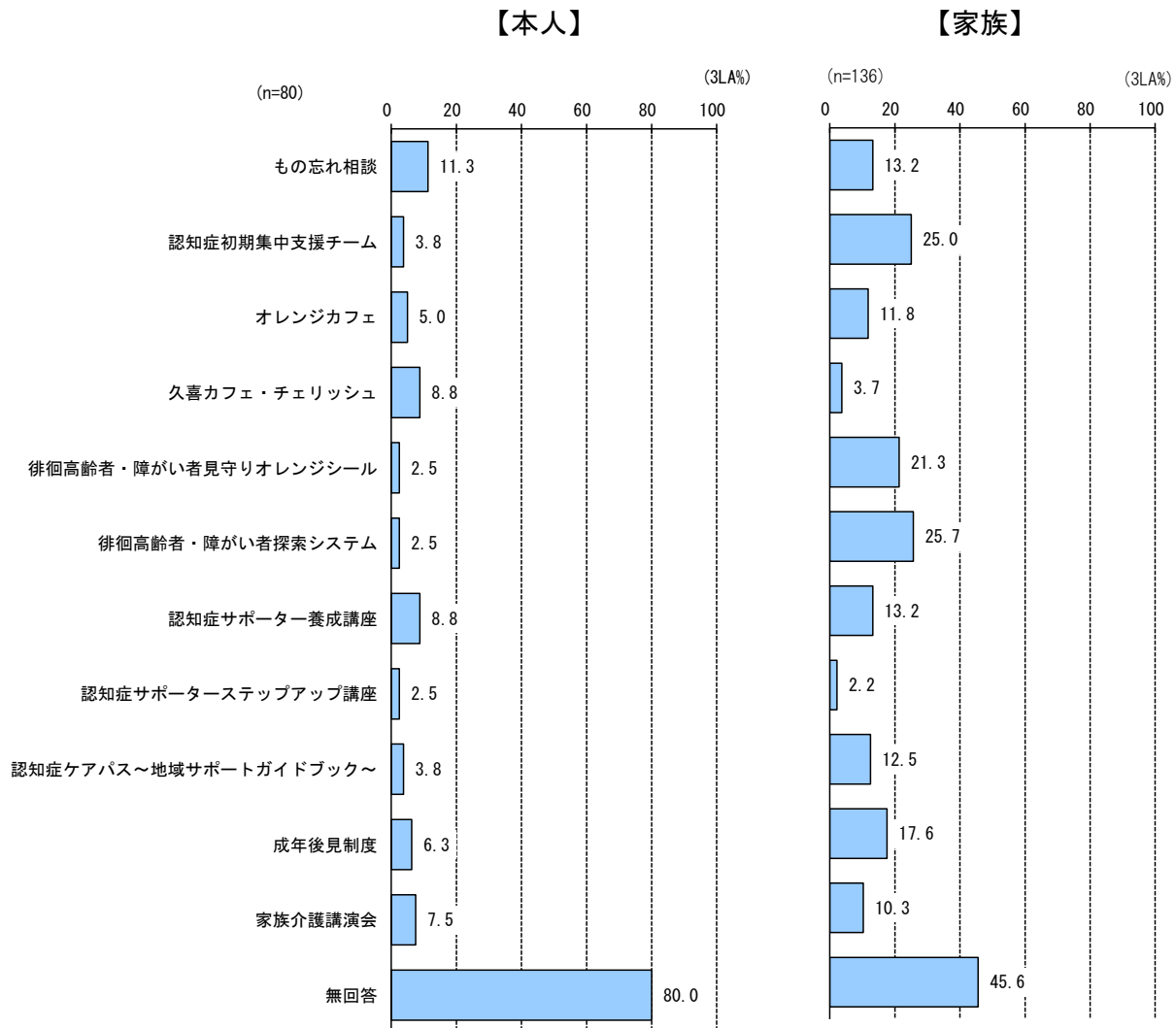
(2) 行政の取り組みで必要と思うもの(3つまで)

【本人】

- 「もの忘れ相談」が 11.3%で最も多く、次いで「久喜カフェ・チェリッシュ」「認知症サポーター養成講座」が 8.8%、「家族介護講演会」が 7.5%となっています。

【家族】

- 「徘徊高齢者・障がい者探索システム」が 25.7%で最も多く、次いで「認知症初期集中支援チーム」が 25.0%、「徘徊高齢者・障がい者見守りオレンジシール」が 21.3%となっています。



6. 参考（令和7年度実態調査結果）

（1）要介護認定者調査結果

●本人が現在抱えている傷病（複数回答）

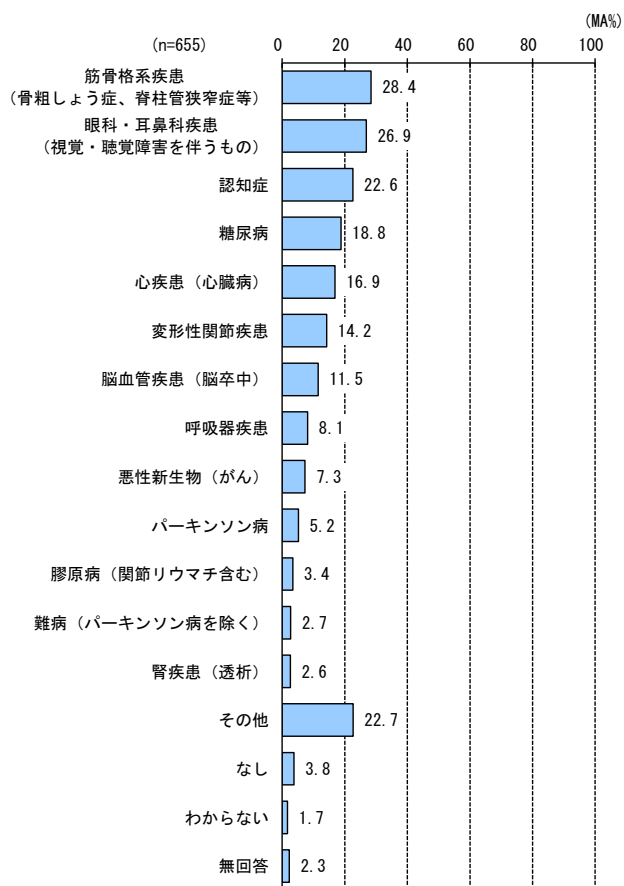
【全体】

- 現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が28.4%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.9%、「認知症」が22.6%となっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「認知症」が41.1%で最も多くなっています。

【現在抱えている傷病】



単位：％

		母数 (n)	現在抱えている傷病								
			脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨折 しょう症、 背柱管狭窄 等)	膠原病 (関節リウマチ 含む)	変形性関節疾患	認知症
	全体	655	11.5	16.9	7.3	8.1	2.6	28.4	3.4	14.2	22.6
性別	男性	244	15.6	16.4	10.7	9.8	3.3	▼ 17.2	2.0	6.1	22.1
	女性	411	9.0	17.3	5.4	7.1	2.2	35.0	4.1	19.0	22.9
年齢	65～74歳	59	△ 22.0	10.2	3.4	8.5	1.7	28.8	6.8	6.8	▼ 11.9
	75～84歳	278	12.9	14.7	8.3	8.6	2.5	29.9	4.7	12.9	23.4
	85歳以上	318	8.2	20.1	7.2	7.5	2.8	27.0	1.6	16.7	23.9
居住地域	久喜西地区	147	6.8	19.0	6.8	6.1	1.4	34.0	2.7	12.2	22.4
	久喜東地区	177	11.9	17.5	9.0	10.7	4.0	28.2	2.8	15.8	24.3
	菖蒲地区	81	11.1	17.3	3.7	3.7	1.2	25.9	7.4	11.1	22.2
	栗橋地区	119	11.8	16.0	7.6	8.4	3.4	27.7	2.5	14.3	18.5
	鷺宮地区	131	16.0	14.5	7.6	9.2	2.3	24.4	3.1	16.0	24.4
要介護度	要支援１・２	195	7.7	15.4	5.1	10.3	2.6	34.4	4.1	14.9	▼ 5.6
	要介護１・２	309	12.3	18.1	8.1	7.4	3.2	27.8	3.2	14.9	24.3
	要介護３～５	151	14.6	16.6	8.6	6.6	1.3	21.9	2.6	11.9	△ 41.1

単位：％

		母数 (n)	現在抱えている傷病							
			パーキンソン病	を難病 (パーキンソン病 を除く)	糖尿病	の覚眼科・聴・耳 鼻科疾患(視 覚障害を伴うも の)	その他	なし	わからない	無回答
	全体	655	5.2	2.7	18.8	26.9	22.7	3.8	1.7	2.3
性別	男性	244	6.6	2.5	23.4	28.7	23.0	3.7	1.2	1.6
	女性	411	4.4	2.9	16.1	25.8	22.6	3.9	1.9	2.7
年齢	65～74歳	59	11.9	10.2	22.0	▼ 16.9	25.4	1.7	—	1.7
	75～84歳	278	6.1	3.2	21.2	20.9	26.6	2.9	1.4	3.2
	85歳以上	318	3.1	0.9	16.0	34.0	18.9	5.0	2.2	1.6
居住地域	久喜西地区	147	3.4	3.4	17.7	26.5	26.5	3.4	3.4	4.8
	久喜東地区	177	6.2	2.3	19.8	28.2	25.4	4.0	1.1	1.1
	菖蒲地区	81	4.9	2.5	17.3	28.4	19.8	2.5	2.5	—
	栗橋地区	119	5.0	4.2	18.5	26.1	21.0	3.4	—	2.5
	鷺宮地区	131	6.1	1.5	19.8	25.2	18.3	5.3	1.5	2.3
要介護度	要支援１・２	195	2.1	1.5	18.5	32.3	22.1	6.7	1.5	2.6
	要介護１・２	309	5.8	2.9	19.7	27.2	21.4	2.6	1.9	2.3
	要介護３～５	151	7.9	4.0	17.2	19.2	26.5	2.6	1.3	2.0

●現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等（3つまで）

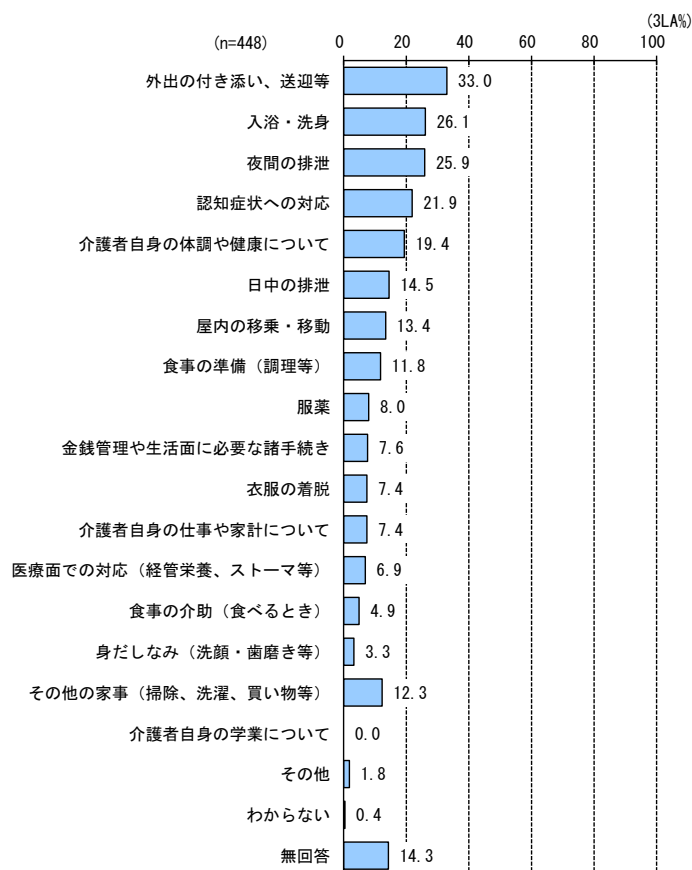
【全体】

- 不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が 33.0%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が 26.1%、「夜間の排泄」が 25.9%となっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「夜間の排泄」が 38.8%で最も多く、次いで「介護者自身の体調や健康について」が 28.1%、「認知症状への対応」が 25.6%となっています。

【不安に感じる介護】



単位：％

単位：%												
		母数 (n)	不安に感じる介護									
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べるとき）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応
全体		448	14.5	25.9	4.9	26.1	3.3	7.4	13.4	33.0	8.0	21.9
要介護度	要支援 1・2	90	7.8	17.8	2.2	23.3	—	2.2	15.6	△ 44.4	6.7	13.3
	要介護 1・2	237	12.7	22.4	4.6	28.3	4.6	8.4	9.3	34.2	10.1	23.2
	要介護 3～5	121	23.1	△ 38.8	7.4	24.0	3.3	9.1	19.8	▼ 22.3	5.0	25.6

単位：％

単位：%												
		母数 (n)	不安に感じる介護									
			栄養、医療面での対応（経管 栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買物等） その他の家事（掃除、	金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	介護者自身の体調や健 康について	介護者自身の学業につ いて	介護者自身の仕事や家 計について	その他	わからない	無回 答
要介護度	全体	448	6.9	11.8	12.3	7.6	19.4	—	7.4	1.8	0.4	14.3
	要支援 1・2	90	6.7	15.6	△ 24.4	10.0	▼ 8.9	—	3.3	3.3	1.1	17.8
	要介護 1・2	237	8.0	13.5	11.8	8.9	19.0	—	7.6	0.8	0.4	13.9
	要介護 3～5	121	5.0	5.8	4.1	3.3	28.1	—	9.9	2.5	—	12.4

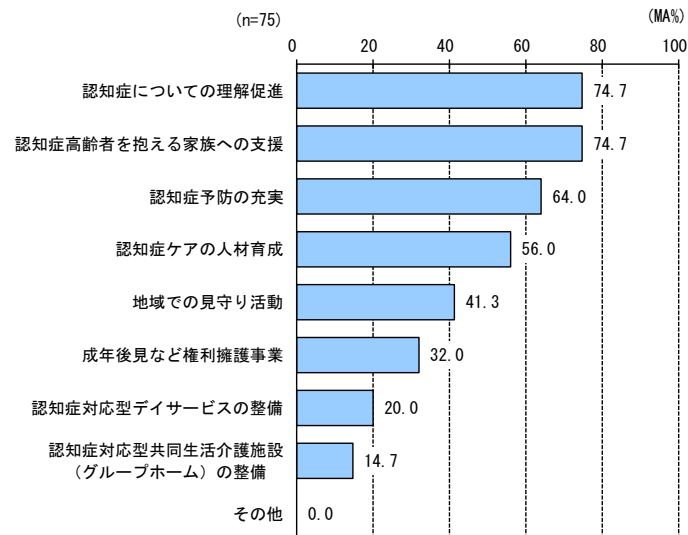
(2) 介護サービス事業所調査結果

●認知症高齢者の介護に関して、今後進める必要があると思うこと（複数回答）

【全体】

- 認知症高齢者の介護に必要なことについて、「認知症についての理解促進」「認知症高齢者を抱える家族への支援」が 74.7%で最も多く、次いで「認知症予防の充実」が 64.0%、「認知症ケアの人材育成」が 56.0%となっています。

【認知症高齢者の介護に必要な取り組み】



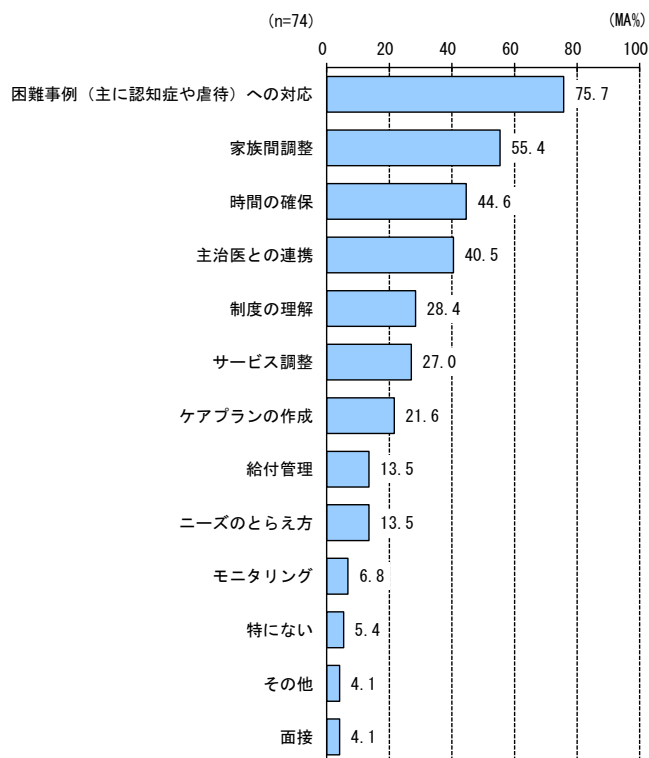
(3) ケアマネジャー調査結果

●介護支援専門員の業務として難しいと思っていること（複数回答）

【全体】

- 介護支援専門員の業務で難しいことについて、「困難事例（主に認知症や虐待）への対応」が75.7%で最も多く、次いで「家族間調整」が55.4%、「時間の確保」が44.6%となっています。

【介護支援専門員の業務で難しいこと】

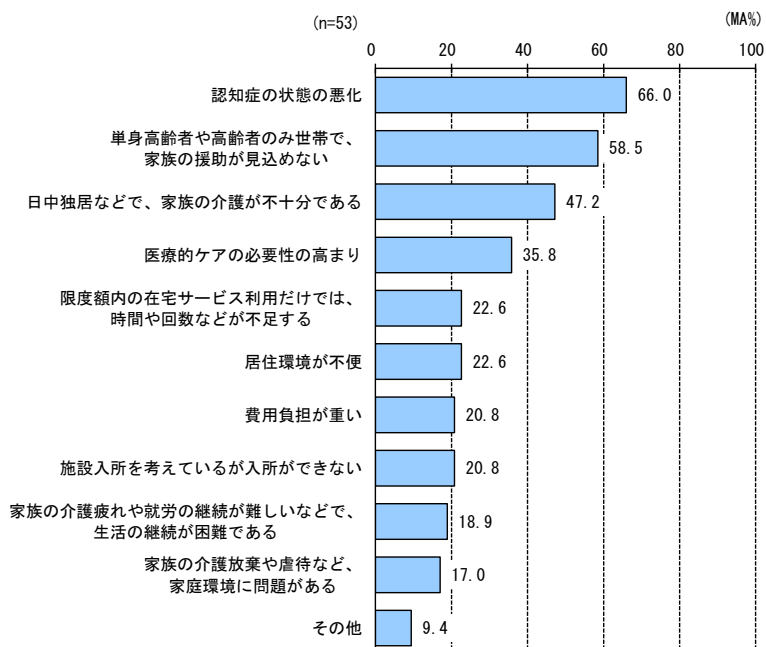


●利用者で、在宅生活が困難と思われる理由（いくつでも○）

【全体】

- 在宅生活が困難な理由について、「認知症の状態の悪化」が 66.0%で最も多く、次いで「単身高齢者や高齢者のみ世帯で、家族の援助が見込めない」が 58.5%、「日中独居などで、家族の介護が不十分である」が 47.2%となっています。

【在宅生活が困難な理由】

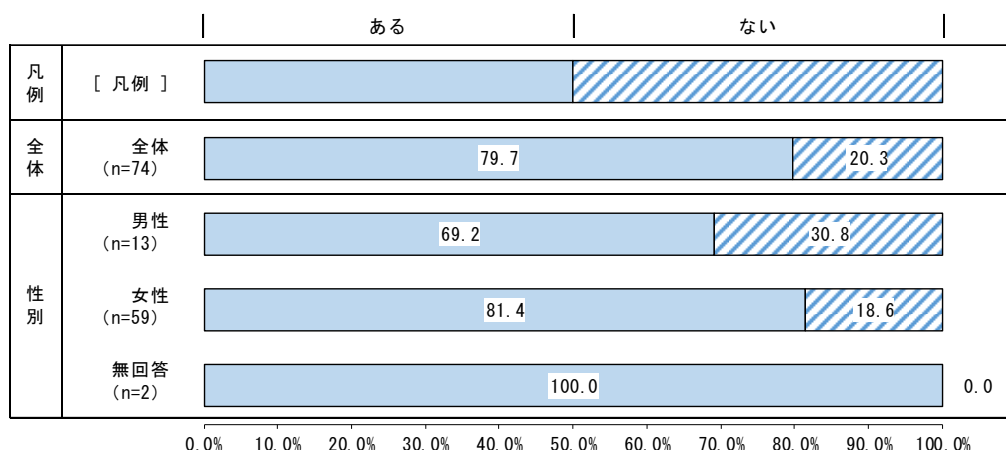


●認知症に関して相談できる医療機関の有無

【全体】

- 認知症について相談できる医療機関の有無について、「ある」が 79.7%、「ない」が 20.3%となっています。

【認知症について相談できる医療機関の有無】

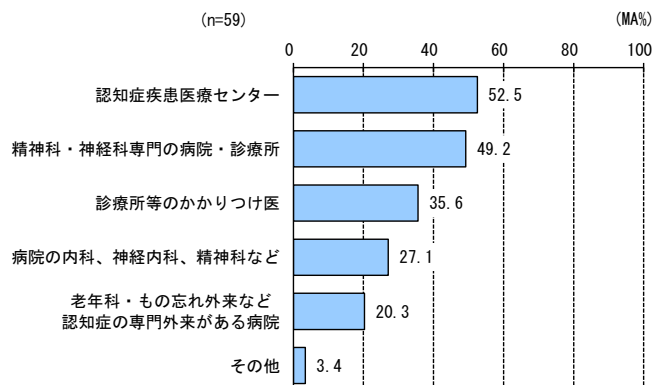


●相談している医療機関（複数回答）

【全体】

- 認知症に関する相談先について、「認知症疾患医療センター」が 52.5%で最も多く、次いで「精神科・神経科専門の病院・診療所」が 49.2%、「診療所等のかかりつけ医」が 35.6%となっています。

【認知症に関する相談先】



●認知症高齢者の介護に関して、今後進める必要があると思うこと（複数回答）

【全体】

- 認知症高齢者の介護に必要な取り組みについて、「認知症についての理解促進」が 70.3%で最も多く、次いで「地域での見守り活動」が 52.7%、「認知症予防の充実」が 50.0%となっています。

【認知症高齢者の介護に必要な取り組み】

